

やらんば！平戸

ひと(HITO) 響きあう 宝島 平戸

ひろど

Hirado City Public Relations

2008
July

7

平成20年

No.034

子どもたちが愛せるふるさとを
大切に守っていくために・・・

Hirado City Public Relations



Hirado city Public Relations
2008.7 No.34
広報ひろど 平成20年7月号



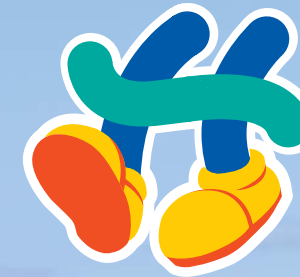
大豆油・インキを使用しています。

【編集・発行】平戸市総務課 〒859-5192 長崎県平戸市若の上町1508番地3
TEL/0950-22-4111 (代) FAX/0950-22-2419
■URL <http://www.city.hirado.nagasaki.jp> ■E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
■印刷/有限会社ケンホクプリント

Contents

特集「分岐点～TURNING POINT～」	▶ 02	みんなの図書館	▶ 28
平成19年平戸市観光統計	▶ 16	サン・ケア平戸通信	▶ 29
世界遺産「田平天主堂」	▶ 18	平戸遺産～鯨組の軌跡～	▶ 30
生涯学習コーナー「学びの達人」	▶ 20	平戸オランダ商館風説書、おしえて年金	▶ 31
HIRADOX-change	▶ 21	シリーズ「協働」元気にするまちづくり④	▶ 32
まちのひとびと	▶ 22	平戸市からのお知らせ	▶ 34
市民の声・読者プレゼントコーナー	▶ 24	情報ひろば	▶ 42
まちのできごと	▶ 26	人口の動き・編集室からひとこと	▶ 44

EVENT INFORMATION



平戸から世界遺産を
教会群と日本最初のオランダ交易港を歩こう!

ひろど2008 ツーデーウォーク

申込受付開始!!

9月27日^土

主会場：生月町開発総合センター
西海国立公園の大パノラマを見るコース
30kmコース・15kmコース・7kmコース

9月28日^日

主会場：平戸文化センター
教会群とオランダ商館をめぐるコース
33kmコース・23kmコース・13kmコース
6kmコース

おもてなしスタッフ募集

実行委員会では、市全体でこのイベントを盛り上げていくため、参加者を歓迎していただくおもてなしスタッフ(ボランティア)を募集しています。業務内容は、会場内での案内係やスタート・ゴールでの受付係、コース上での誘導係などです。

また、各コースに設置する約13か所の給水接待所で、給水だけでなく、みなさんの笑顔とアイデアを活かしておもてなしをしていただく団体も募集しています。ご協力をお願いします。

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

参加者募集

大会への参加者を募集しています。各世帯へ配布しています参加申込書に必要事項を記入の上、生涯学習課社会体育班、または各教育委員会分室、各公民館に参加費を直接お持ちになるか、最寄りの郵便局で振り込んでください。たくさんの方のみなさんご参加をお待ちしています。

お問い合わせ

ひろどツーデーウォーク大会実行委員会
事務局(生涯学習課内)
☎内線 2624

◎今月の表紙

大島村神浦の町並みでの一コマ。国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定された神浦の町並みでは、夕方になると子どもたちが学校帰りに集まって、和気あいあいとにぎわいを見せています。この価値ある町並みを後世に残すために、私たちにできることは。特集「分岐点-TURNING POINT-」は2ページから。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。



◎人口の動き

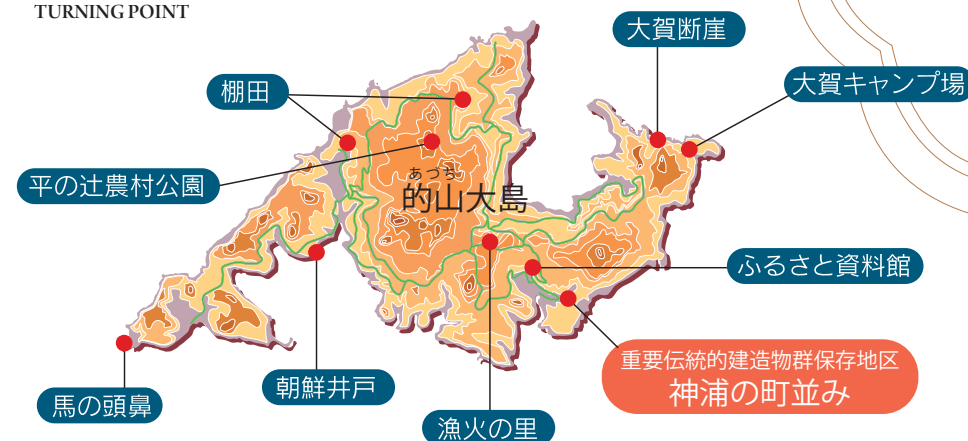
■平戸市人口/37,640人(-64)
男性/17,657人(-45)
女性/19,983人(-19)
■世帯数 14,444戸(-19)
※()は、前月との比較
平成20年6月1日現在

Editor's

編集室からひとこと

今月号では、ターニングポイント(分岐点)と題して、大島村の神浦の町並みについて特集を組みました。取材中、住民のみなさんのふるさとに対する思いをいろいろと聴きましたが、思いや形は違えども、明るい未来を描いているのはみなさん同じです。平戸市の歴史や自然、食など、市民のみなさん一人ひとりが今一度その価値を認識して初めて、平戸市の資源が光り輝くのだと感じました。

観光統計の取材で印象に残った言葉がありました。「自然景観や歴史だけでは人は来ない。語らなければ人は来ない。地元のことをもっと知らなければ語れない!」という言葉です。平戸に来てもらうためには、平戸の魅力を伝えることが必要。そのためには、まず自分自身が平戸を知ることが重要であることを気付かされました。まず、平戸の歴史からもう一度勉強してみようと思います。



大島村神浦の町並みは、戦後の高度経済成長によって失われた日本の伝統的町並みの原風景が残されていることが、大学や建築関係の研究者の中で以前から知られていました。しかし、町並みへの評価が具体的に行われたのは近年のことで、平成16年に県教育委員会、県美しいまちづくり審議会、文化庁が相次いで現地調査に訪れ、平入りの町家が途切れることなく建ち並んだ景観が高く評価されました。同年12月には県のまちづくり景観資産に登録され、平成17年度からは文化庁の補助事業として、2か年にわたり伝統的建造物群保存対策調査に着手することとなりました。

調査は、NPO法人文化財匠塾に調査を委託し、長崎総合科学大学、九州大学、熊本大学、佐賀大学の協力のもと行われました。町並みの歴史や成立起源と過程、景観形成、町家の建築年代や特徴、地域社会の状況と意識調査、保存の基本方針など

重伝建選定への取り組み

神浦の重伝建選定へのあゆみ

鯨組の創業を契機に大きく発展した離島の伝統的港町「神浦」

について、学術的な調査、分析、評価、提言がなされました。

調査の結果、「中世末期から近世初頭にかけて成立した漁村集落が、鯨組の創業と廃業を経て近世の港町へと発展し、神浦湾沿いにゆるやかに曲折する通りに面して、江戸中期から明治期に建てられた建物が数多く残され、離島の港町の景観を色濃く伝えている」との高い評価を得ることができました。

これらの調査結果を基礎に、市では、平成19年度に伝統的建造物群保存条例を制定、伝建審議会の設置および審議、住民説明会や特定物件の同意集約などを経て、伝建保存地区の決定および保存計画を策定し、平成20年6月9日付の官報告示により、全国で83番目となる重伝建地区の選定を受けました。



伝統的建造物群保存地区とは

伝統的建造物群は、文化財保護法により「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物で価値の高いもの」とされる文化財です。昭和50年の文化財保護法の改正によって「伝統的建造物群保存地区」の制度が発足。城下町、宿場町、門前町など全国各地に残る歴史的な集落・町並みの保存が図られるようになりました。

市町村は「伝統的建造物群保存地区を決定し、地区内の保存事業を進めるため、保存条例に基づき保存計画を定め、国は、市町村からの申出を受けて、わが国にとって特に価値が高いと判断したものを重要伝統的建造物群保存地区に選定します。選定されると、市町村が行う保存修理・防災などの事業、所有者が行う保存修理・防災などの取り組みに対して市町村が補助する事業、また、市町村による案内板・説明板などの設置事業にに対し、国からの経費補助が受けられます。6月9日現在、重要伝統的建造物群保存地区は、71市町村で83地区(合計面積約3200ヘクタール)あり、約15300件の伝統的建造物が保存すべき建造物として特定されています。

国選定重要伝統的建造物群保存地区

神浦の町並み

このうち

この道の先に・・・

今年6月9日、官報告示により大島村の神浦地区が、『重要伝統的建造物群保存地区(港町)』に選定されました。全国で83番目となるこの選定により、今、神浦の町並みは全国から大きな注目を浴びようとしています。全国でも他に類をみない歴史ある港町・神浦。今まさに、大島村にとって大きな転機を迎えようとしています。

特集

分岐点 TURNING POINT

神浦の沿革



享保年間（1716～1735）の鯨組廃業後、跡地の再開発によって海側に新たな町家が築かれ、現在見るこのできる町並みの骨格ができ、漁業と商工業を経済基盤とした港町へと発展を遂げ、豊かな町並みが形成されてきたものと考えられます。

近世、近代前期を通じ多少の建物の建替えはあったものの、火災など大きな災害を被ることもなく維持され、昭和30年代に臨港道路や橋が架けられましたが、旧来の街路の多くは拡張を免れ、ほぼそのまま町並みが残されてきました。

神浦重伝建保存地区の概要

大島村（的山大島）は、平戸島から海上15kmに位置する周囲38km、東西約8km、南北約4km、面積15・50平方kmの島です。地勢は島の中央部を標高200メートル前後の山が東西南北に走り、山がちな地形のため平坦地は少なく、北東に大根坂湾、南西に的山湾があり、南東部の神浦湾は島の玄関口となっています。

神浦重伝建保存地区は、東西約700メートル、南北約650メートル、面積約21・2ヘクタールの範囲で、神浦の集落と周辺部の高台に建つ神社やお寺、墓地および山林などを含む範囲が対象となっています。

中心部は幅3メートルほどの細く曲折する街路の両側に、江戸中期から昭和前期までの町家が建ち並び、離島の港町の景観を色濃く現在に伝えています。

神浦の町並みは、江戸時代初期（17世紀初頭）に形成された漁村集落を起源としますが、寛文年間（1661～1673）に三代目政務役井元義信が鯨組を創業し、海岸を埋立て井元家の屋敷と組網工場を建設したことを契機に大きく発展します。

町家の敷地は、街路に面した山側は奥行きが浅く、反対に浜側は奥行きが深くなっている、山側が中世末から近世初頭にかけて成立した敷地



であるのに対し、浜側が鯨組創業により埋め立てられ、その後、廃業によって町家が変わった土地であることが反映しており、神浦の集落形成の過程を知ることができます。

地区内に建つ家屋の多くは、切妻造平入の棧瓦葺で、腕木庇が付けられており、街路の屈曲に合わせて台形の平面形態を有する家屋が多いことが特徴となっています。山側では敷地の奥行きが浅いため、主屋のみの住宅が多く、奥に向かって2部屋を並べるものが多く見られます。

逆に浜側は敷地の奥行きがあるため、主屋は奥に向かって3部屋並べるものが多く、敷地の裏に離れを持つものも散見されます。町家の一階前面は、大正期まで出入口を含めて摺り上げ戸が一般的で、その後引き違い戸に変化したことが調査で確認されています。一部の住居には、摺り上げ戸や出格子があつた痕跡が残されており、大正期以前の町並みを思い浮かべることができます。

斜面に面した狭い土地を利用するため、石垣や石段などの石造工作物が多く、天降神社の石垣や参道の石段は大規模なものとして見応えがあります。

ります。

また、地区内の各所に残る共同井戸は、昭和40年代まで主要な水源として使用されてきたもので、石造りの井戸枠や周囲の石畳がほぼそのままに残っています。昭和50年代には、自動車の通行に支障があるとして町家に面した街路の石畳が撤去されアスファルト舗装となったために、神浦の町並みの特徴付けていた要素が失われることになりました。

選定の理由

平戸市大島村神浦伝統的建造物群保存地区は、近世から近代にかけての離島の歴史的風致を残すとともに、中世末期から近世初期にかけて成立した漁村集落が、鯨組の創業と廃業という出来事を経て近世的な港町に変容していった姿を今日に良く伝えており、我が国にとって価値が高く、国の選定基準「伝統的建造物群及び地割りがよく旧態を保持しているもの」に該当することから、平成20年6月9日付けで国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

町家の主屋や離れ、寺院の本堂、山門、神社の本殿など131件の建造物と、石垣や石段、共同井戸、水路護岸など91件の工作物を伝統的建造物に、また樹木や庭園、水路など16件を環境物件にそれぞれ特定し、保存のための取り組みを進めることとしています。

神浦地区に伝わる伝統芸能



大島の須古踊は天正2年（1574）、現在の佐賀県白石町にあった須古妻木城が落城し、大島に逃れた平井一族が郷里をしのんで踊り伝えたといわれています。県内各地の須古踊にはすべて須古妻木城落城伝説が結びついていますが、それぞれ芸能は異なっており、大島の須古踊は日本民俗芸能の分類からすれば、古くから大島村にのみ伝承されてきた念仏系統の芸能ではないかという説もあります。

踊りは帷子に角帯、草履に菅笠、手に扇子（魚）をもって円形になり笛・太鼓・鉦に合わせて歌いながら静かな動作を繰り返します。歌詞は艶っぽく、中世芸能の残存が見られるといわれています。



①持ち送り：建築時代ごとにデザインが異なる②町屋の内部意匠：帯戸戸棚と階段下の箱階段③摺り上げ戸：引き戸以前はこれが主流だった④共同井戸：主要な水源として昭和40年代まで使用されていた

鯨組創業と井元弥七左衛門

今日に伝える井元家鯨組の栄華と神浦集落の形成



『鯨組絵図・塩吹出の図』(北原守氏所蔵)

鯨組創業と神浦集落の形成

平戸地域では、江戸時代の初めごろから突取捕鯨が始まりましたが、「西海鯨鯢記」には、的山大島の神浦、山浦、大根坂、和歌の浦などが鯨組の拠点であったという記述があります。とりわけ近世の大島に大きな影響を与えたのが、井元家鯨組の存在であり、現在の神浦集落の基礎は鯨場の成立によって形成されたといっても過言ではありません。捕鯨の歴史と神浦集落の形成を調べるにあたり、大島の歴史に精通している金剛院住職中倉光慶さん(75)のもとを訪ねました。約30年もの間、大島の歴史について研究している中倉さんは、「井元家略歴」をもとに、鯨組の創業について話し始めました。



古写真
「鯨の浦と神浦港(昭和28年ごろ)」

井元氏の捕鯨は、捕鯨の大規模な経営組織である鯨組として成功を治め、西神浦の西止浦(鯨の浦)を鯨捌所とし、神浦の海岸を埋め立てて船大工、ろ屋、たる屋、鍛冶屋、染屋など諸職の細工場や船引き場、鯨遠見所など多くの施設や屋敷をつくり、神浦の町並みの基礎を築きました。

寛文4年(1664)、義信は神浦に自分の屋敷を建設すると、前平の政務役所から引越し、鯨組の経営に専念するため政務役を引退し、町年寄(相談役)として活躍しました。現在、勘定場の井戸や茶屋の坂などが残り、町並みには、1700年代の鯨組関係の建物をはじめ、江戸時代の建物は何軒も現存しています。

鯨組は、各地からの専門の職人を合わせて500人以上の大きな組織となり、出漁拠点は神浦のほか的山浦、大根坂、和歌の浦の4か所がありました。当時は、元禄文化の発展と前後してキリシタン弾圧、生類憐みの令、一揆打ちこわしなどの社会不安と貧困の中にもありましたが、西

海の海の男たちは寒風吹きすさぶ玄海の荒波に鯨を追い求め、「鯨1頭獲れば七浦賑わう」といわれたほど、オランダ貿易の利益を失った藩の財政を潤し、庶民の生活を助けました。

井元家鯨組の廃業

井元氏の鯨組は、享保11年(1726)ごろ、五代定治の代で廃業することになります。井元家鯨組の廃業後も神浦は、天然の良港と海上交通の要衝として水産業と商工業を基盤とした「島の港町」として、出船入船でにぎわい発展を続けました。

この定治の死後、生月では益富家が本格的に鯨組を始め、益富組として、生月島を本拠地としながら吉岐や五島その他の漁場に進出し、5組の鯨組を経営する日本一の規模を誇る鯨組に発展していきます。

鯨組の創業と廃業を経て大きく発展した神浦の町並みですが、現在も落政時代の地割がほぼ残されており、当時の町並みを今も想定することができます。「鯨の浦」や「勘定場の井戸」、「鯨の供養碑」、「真教寺の梵鐘」など井元家鯨組のはるかな栄華を今日に伝えています。

説明いただいた中倉さんは、「歴史は新しくつくるものではありません。このすばらしい歴史を今に生きる私たちは伝承していかなければなりません」と最後に話され、井元家系図をそつと閉じました。



▲井元氏一族の墓

井元家鯨組の活躍を 今日に伝える遺産の数々



3



1



4



2

●金剛院住職
中倉 光慶さん
NAKAKURA KOUKEI



約30年もの間、大島村の歴史を研究し、その歴史を語り継いでいる。75歳。大島村前平在住。平成17年10月から市の文化財審議会委員を務めている。

戦国武将 木曾義仲の末裔

井元氏の本姓は「木曾氏」で、有名な木曾義仲の末裔といわれ、義信の曾祖父義昌は、弘治2年(1556)に武田信玄との戦に敗れ和睦の末、信玄の娘を室としました。

しかし、天正10年(1582)には、義兄の武田勝頼に背いて織田信長に属し、松本城に居りました。その後、下総国蘆戸(千葉県旭市)に所領一万石で封じられました。その後、嫡子の千三郎義利は、慶長5年(1600)11月に吉岐の湯本(勝本町)に流着し、湯本にちなんで姓を「井元」と改称します。まもなく松浦家第28代松浦隆信公から大島の政務役として招請され、翌慶長6年(1601)11月、初代政務役として大島村前平の地に着任しました。



政務役の墓：慶長6年(1601)大島に赴任した井元弥七左衛門義利の墓。奥に祖先水向け供養の小塔がある。

分岐点

TURNING POINT

保存地区は、主に木造の建築で構成されており、火災などの災害対策が不可欠です。全国の伝統的建造物群保存地区では、景観に配慮しつつ、防災施設の整備や危険な石垣の補強積み直しなど、各地区に応じた防災施設等整備事業が計画的に進められ、常日ごろから災害対策に取り組んでいます。神浦地区においても、これから市や消防機関、専門家と住民のみなさんが一体となって、共に防災計画を策定することになります。

現在、火災や自然災害が発生した場合、懸念される2つの問題があります。

懸念される災害への対応

一つ目は、高齢化の問題です。神浦地区の人口は、今年6月1日現在2377人（113世帯）で、65歳以上の高齢者が104人と半数近くを占めています。近年、全国的に地震や台風などによって、伝統的な家屋が倒壊するなどの被害が出る中で、特に高齢者に多く犠牲が出ていることは否定できません。

二つ目は、立地の問題です。神浦の町並みは、町家が肩を並べるように軒を連ね、また、幅員が狭い道路のため、軽自動車でも町並みを通ることは簡単ではありません。万が一、火災が発生した場合、水槽付消防ポンプ自動車、いわゆる消防車はこの町並みに入ることができないのです。



大島村盆踊り合同公開(昭和50年ごろ・天降神社下にて)



第3章

歴史的町並みと共に暮らす

歴史的町並みの保存と活用、今後の課題

町並みの保存に向けて

重要伝統的建造物群保存地区は、住み続けながら文化財として守っていくということに大きな価値があります。伝統的建造物群は、文化財保護法により「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」と位置付けられた文化財です。

重伝建に選定されることが終着点ではありません。住民と行政が協働して伝統的建造物群の保存・整備に努めるとともに、「地域の活性化に向けた取り組みを進めることが重要なことです。市では、今後、神浦の町並みの魅力をより高めるため、次の事業を予定しています。

【市が行う保存のための事業】

▼保存修理

保存修理事業は、主に修理事業と修景事業に分けられます。

○修理事業 現状を維持しながら、または、復元的手法を用いて、傷みの激しい伝統的建造物を修復するものです。

▼防炎

消火設備などの防災施設の設置、地区全体のシロアリ駆除、危険な石垣の積み直しなど、各地区に求められる防災対策を計画的に進めていくことになります。

▼説明板などの設置

保存地区の位置や価値、範囲をわかりやすく伝えるための標識、説明板などの設置を進めていくことになります。

【保存に対する補助事業】

所有者などが行う修理・修景事業に対して補助を行います。

○修理事業 修理基準に基づいて行う、伝統的建造物の外観の修理などに要する経費

○修景事業 修景基準に基づいて行う、伝統的建造物以外の外観の修景などに要する経費

火災が発生した場合、被害を最小限に抑えるためには初期消火活動が何より重要です。京都市産寧坂では、初期消火を迅速に行えるように一人でも操作できる消火栓設備などを景観に配慮しながら各地に設置しています。また、木造建築が集中している岐阜県高山市三町では、街路沿いの要所にすぐ使える防火器具庫の設置に取り組み、定期的に防災訓練を実施しています。

このように水利や初期消火、防災体制など、神浦の町並みや住民のみなさんにあつた防災計画は不可欠であり、何よりも住民のみなさん一人ひとりの防災への意識が重要となります。



神浦の町並みを
次世代に残すために・・・
子どもたちの笑顔を
絶やさないために・・・

重伝建選定記念シンポジウムのお知らせ

平戸市大島村神浦の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けたことを記念し、神浦の歴史的風致や伝統的建造物群について理解を深めるため、シンポジウムを開催します。

7 / 19 (土) 午後1時40分～午後3時45分
大島村離島開発総合センター(大島村神浦地区)

○主な内容

【基調報告】伝建調査から重伝建選定までの取り組み

【講演】

「神浦の町並みの成り立ちと特性」宮本雅明教授

【シンポジウム】

「歴史・文化・生業の集積、歴史的風致を未来に活かそう」

司会：小西龍三郎(NPO法人文化財匠塾)

登壇者：宮本 雅明(九州大学大学院芸術工学研究院教授)

三島 伸雄(佐賀大学理工学部都市工学科准教授)

吉居 辰美(平戸市教育長)

丸田 圭介(あづち大島たからものの会会長)

助言者：林 良彦(文化庁文化財部伝統的建造物群部門主任調査官)

【町並み案内】19日(土)午前10時30分～正午

20日(日)午前9時～午前10時

○参加費 無料(弁当代、宿泊費を除く。)

申込み・お問い合わせ

教育委員会大島分室(☎55-2511)



大島のジャンガラ

より、今もなお地域住民の結びつきは深いものとなっています。

今後は、重伝建地区選定による観光客の増加が見込まれますが、これらの伝統芸能を併せてPRすることにより、観光客にとって大島村を訪れたくなる魅力が何倍にも膨らむ可能性も考えられます。

**保存の先に見える
歴史的景観の活用方法**

今後、市や所有者のみなさんなどによって、町並みが整備されていくこととなりますが、空き家対策が神浦の町並みにおいて重要な課題の一つであるといえます。調査の結果によると、空き家は改造が少ない一方で、老朽化や傷み具合が進んでいるものが多いとされています。それらの空き家の所有者は、高齢者や、また、遠方にいる場合が多く、今後この空き家を保存するにも、活用するにも、同意が困難に進まない場合も想定されます。伝建制度は、住み続けながら文化財として守っていくと



▲6月10日、今後のまちおこしイベントなどについて話し合うあづち大島たからものの会のメンバー。この日、官報告示(6月9日付)を報告し、重伝建選定に湧いた。

いうことに大きな価値があります。

今後、観光客など交流人口の増加によって、まちをあげての受入態勢が必要となりますが、この歴史ある町家を休憩所や大島の特産品を提供する食堂、土産品店などとして活用できれば、更なる観光客の受入が可能となります。大島への観光客は釣り客や夏のキャンプに訪れる人が主でしたが、近年は神浦の町並みが報道されるようになり、町歩きをする観光客も増えてきています。

しかしながら、観光客の増加に伴い、まちの中では生活に不安を感じている人も少なくありません。これから、観光客へのマナー喚起も含めて、ボランティアスタッフなどの受入態勢の整備も必要となってきます。

また、今後、町並みの整備によって、大島村を離れた人の帰郷や団塊の世代の人の第2のふるさととして、Uターン者などの増加も期待されています。

神浦は日本の港町の原風景

大島村神浦は国の83番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。昭和50年の文化財保護法改正によって始まったこの保存地区には、最初に選定された妻籠や高山、世界遺産に登録された白川郷、大森や温泉津など、著名な歴史的町並みや集落が含まれています。奥深く湾入した水際に伝統的町家建築が建ち並び、江戸期にさかのぼる建築も数多く含まれる神浦は、日本の港町の原風景とも言える景観を残す点に高い価値が認められます。これらの町並みに匹敵する歴史的町並みとして、多くの人々の注目を集めることでしよう。各地から訪れる人々を受け入れることによつて、今後の地域の発展が大いに期待されます。そのためには、保存計画に従って伝統的建造物の保存修理を着実に進め、神浦の町並みの魅力を損なうことなく、さらに高めていくことが求められます。



宮本 雅明 教授
九州大学大学院
芸術工学研究院教授

大島村には、藩政時代からいくつもの伝統芸能が保存伝承されています。先に紹介した国選択無形民俗文化財「大島の須古踊」のほか、県指定無形民俗文化財「大島のジャンガラ」、そして、市指定無形民俗文化財「大島の流儀」が今なお伝承され、地域のみなさんに親しまれ郷土の誇りとなつています。毎年お盆の季節には、これらを一齐に公開する「大島村盆踊り合同公開」が開催されます。

また、大根坂には県内でも数少ない「六斎念仏」の伝承者もいます。これらは、過疎化や高齢化が進む中で、以前より簡素化される傾向にあります。伝統芸能の保存継承に

受け継がれる伝統芸能



大島の流儀

「この町並みを活かして、かつてのにぎわいを少しでも取り戻したい」と平成16年2月、丸田圭介さんの掛け声のもと「あづち大島たからものの会」は発足しました。

「活動を始めて、地元の人たちと話す機会が増えましたが、こういう町並みはどこにでもあると思つて出るんです。大島の住人の中には他所に出たことがない人も多く、この町並みが当たり前だと思つている人も少なくありませんし、私自身大島を出てなければ、その価値を認識していなかったかもしれません。今後、少しでも多くのみなさんにこの町並みの良さをわかってもらいたいですね」と丸田さんは笑顔で話しました。

「町家」と呼ばれる木造平入りの家屋が肩を寄せ合うようにぎつしりと立ち並ぶ神浦地区。一歩足を踏み入れるとどこかタイムスリップしたかのような感覚さえ覚える町並み。かつてこの地区は、鯨組の創業と廃業を経て、大きな発展を遂げにぎわいを見せていました。しかし、高度経済成長期を境に過疎化が進み、現在は、昔ほどのにぎわいを見ることはできません。

同会では、この町並みを活かして町歩きクイズ大会やそうめん流し、天降神社の祇園祭のときには町並みを明かりで演出するなど、さまざまなおこし活動を展開しています。

また、昨年は、空き家対策の一環として、避粉地調査にもとづく避粉

地宣言を行い、花粉症の症状改善と花粉症のみなさんの短期中期滞在施設として空き家を整備活用することを目的に「花粉症リフレックス体験モニター」も実施しました。

「現在、たからものの会では、空き家の調査を計画しています。神浦の町並みの中の3分の1は、空き家となっています。この空き家を活用しない手はありませんし、家は使用しないと傷むばかりなので、保存の面でも使用した方がいいのです。これから重伝建の選定を受け、観光客など交流人口も増えてくると思います。この空き家を活用してお茶を振る舞ったり、お土産を販売したり、食事を提供したいという町の声も聞きます。また、ボランティアガイドも必要でしょう。この空き家をどう活用できるか調べることから地域の活性化が始まると思つています。地域の声を聴いて、たからものの会が橋渡しとなつて盛り上げていければいいですね」と丸田さんは目を輝かせながら話しました。

「この町並みに住んでいて、本当に良かったと思つています。ますます大島のが好きになりましたね。重伝建地区選定は、ゴールではなくスタートなんです。この選定を期に、神浦だけでなく大島全体が盛り上がっていければと思つてます」

「重伝建地区選定は、ゴールではなくスタート。
神浦だけでなく大島全体を盛り上げていきたい」

あづち大島たからものの会

会長 丸田圭介 さん(40)

◎大島村神浦在住

Maruta Keisuke





大島ってすごい！

大島小学校6年生のみなさん

大島にこんな歴史がある
町並みがあるなんて
びっくりしました！



5月29日、総合学習の時間を利用して大島小学校6年生のみなさん9人が神浦の町並みを巡りました。教育委員会大島分室の米村伍則さんが、神浦の町並みの特徴とその歴史について丁寧に説明すると、児童のみなさんは真剣な様子でメモを取っていました。後日、児童のみなさんは、壁新聞をつくり、大島の歴史の深さに改めて驚いていたようです。



OYAMA KEIKO

小山 蛭子さん(大島中3年)

私の祖母は、神浦に住んでいます。祖母の家に遊びに行く度に、神浦の町並みを通ります。通りなれた道ですが、今日の学習で初めて知ったことがたくさんありました。私にとっては、見慣れ、通り慣れた町並みですが、これからもずっと大切に、さらに多くのみなさんにこの町並みを知ってもらいたいと思います。



MINAMI YAMATO

南 大和さん(大島中3年)

僕は3年間歴史探訪の活動の時間を通して、神浦の町並みを学んできました。町並みの中には、古い物では江戸時代のものがあります。2階の使い方や戸の仕組みなど、今の家とは違う独特の工夫がなされています。昔の人の知恵がつまったこの町並みは僕の誇りであり、今後も大切に守っていきたいと思います。

現代の技術者集団 太子講



YANAGIDA HIROSHI

柳田 博さん(66)
太子講会員

大島には、世界最古の木造建造物である法隆寺を建てた聖徳太子をまつる「太子講」と言われる大工の集まりがあります。私たちは、現代に生きる技術者として、町並みの保存と、大島大工の歴史と技術を伝承していかなければなりません。

また、町家は、火事になると風が屋根を吹き抜け、すぐに火が燃え広がる性質を持っています。防火材など新たな技法も活用しながら改修することで、この貴重な町並みを守っていききたいと思っています。

私は、40年以上大工をやっており、この地区に古い家があると感じていました。でも、これまでは家の保存ではなく、施工者の意向を優先し、トタンなどの安く改修できる技法を用いて改修してきました。その結果、家に湿気がこもり、シロアリが発生するなど、貴重な町家を傷めてしまうこともありました。

大島には、世界最古の木造建造物である法隆寺を建てた聖徳太子をまつる「太子講」と言われる大工の集まりがあります。私たちは、現代に生きる技術者として、町並みの保存と、大島大工の歴史と技術を伝承していかなければなりません。

INTERVIEW



重伝建地区選定にかける まちの本音

橋本 嘉之さん(64)

大島村は、この町並みだけでなく、さまざまな資源があります。大島村にとってこの選定が一つの大きな契機となって、観光や産業の活性化を期待しています。しかしながら、観光客などが来ても、休憩所やトイレ、食堂など受入体制の問題がありますので、そのことを見据えた整備も今後必要ではないでしょうか。



HASHIMOTO YOSHIYUKI

山口 和幸さん(28)

重伝建地区に選定されて、やっと始まったと感じています。宝の持ち腐れにならないよう、この歴史ある資源を活用して交流人口の増加を図り、大島の産業の活性化につながればと思っています。これから重伝建が、まちづくりの中心となると思うので、若い人で力を合わせて盛り上げていきたいです。



YAMAGUCHI KAZUYUKI

吉岡 和夫さん(67)

重伝建地区に選定されたことは、非常に嬉しく思っています。今後は、この町並みを、選定に見合うように地域としても保存や修景に取り組んでいかなければと感じています。また、市外からの集客も期待できると思いますので、市外にもこの価値ある町並みをPRして来島者を増やしていきたいですね。



YOSHIOKA KAZUO

大浦 靖子さん(39)

大島に来て13年経ちますが、町並みの調査後、歴史的にも価値あるものとわかって大事にしていきたいと感じました。住みやすいようにしたいという思いもありますが、これから町並みが整備されるにあたっては、変にきれいになるより今のままの景観を残して、次世代の子どもたちに残していきたいと思っています。



OURA YASUKO

技術者集団 大島大工の存在

大島村には、江戸時代初期から大浦四兵衛という船大工を祖先とする優秀な船大工たちがおり、大島大工として福岡方面まで名を知られるほどでした。四兵衛は、松浦第28代藩主隆信公のお墨付きの大工であり、その技術は四兵衛の子どもたちにも受け継がれます。その後、その子どもたちによって、船大工と家大工に分業し、それぞれ専門に技術を磨き、その技術は格段に向上します。亀岡城(平戸城)築城をはじめ、藩士の武家屋敷はそのほとんどが大島大工の設計建築に係らないものはなほほどでした。

四兵衛の孫・卯藏は千歳閣(現在の松浦史料博物館)建築の副棟梁としてその技術を發揮し、また、その子・與右衛門は、社殿設計建築の技術に長け、島内はもちろん、遠くは福岡・佐賀の神社仏閣を建築し、その名を広めています。争って與右衛門を招へいして設計建築を依頼する人が殺到するほどで、ますます大島大工の技術の高さを世に広く知らしめることとなりました。

このように、神浦の町並みが今もなおその姿を残すのも大島大工の存在があったにほかなりません。

ふるさと再生へ 動き出す未来への第一歩

かつて、鯨組創業と廃業を経てにぎわった大島村も戦後の高度経済成長期を境に、人口減少の一途を辿っています。いわゆる少子高齢化、過疎化に歯止めはかかっています。しかしながら、それ故にこの町並みはこれまで大事に住民のみなさんによって守られてきたのです。昔ながらの手付かずの町並みが、今価値ある歴史資源として全国から脚光を浴びています。

ターニング・ポイント（分岐点）―

重要伝統的建造物群保存地区の選定は、神浦地区のみならず大島村にとつて、そして平戸市にとつても大きな岐路に立っているといっても過言ではありません。全国各地の保存地区は、それぞれに個性があり魅力ある地区ばかりです。過疎化が進む一方だった地区が、最先端の観光地となった例もあります。

かつて、鯨組の創業を契機に大きく発展した離島の伝統的港町「神浦」。あるきっかけから、ふるさとの価値に気づき、住民と行政が一体となつて景観保存に動き出しました。その成果が実り、今大島村に一つの光が差し込んだのです。開発されることなく昔ながらの日本の原風景が残されたこの町並みには、実にさまざまな歴史が息付いています。

この「資源を輝かせることができるのは、そこに暮らす住民のみなさん

であり、市民のみなさんです。「資源」は、活かすことで初めて成果が出ますが、資源は活かさなければ風化します。この資源を生み出したのは、先人たちである「人」です。この町並みを形成したのもその時代に生きた「人」であり、それをこれまで守り抜いてきたのも「人」です。

これからこの町並みをどうまちづくりに活かしていくか、全ては現代に生きる私たちの手にかかっています。大島村には、神浦の町並みだけでなく、豊かな自然に育まれた農水産物、離島としては日本最大級の16基の風力発電、広大な台地に広がる棚田などさまざまな資源があります。まちづくりは、そこに暮らす人々の「意思」、みなさんの意思が集まり、知恵となり、そして行動を生みます。重要伝統的建造物群保存地区の選定をどう受け止め、私たちのふるさとにどう活かしていくか。すべては、私たち自身の「意思」の持ち方一つでふるさとの未来は変わるのだと思います。取材をする中でたくさんの人から聞いた言葉「これからがスタート」。今、豊かな未来へ向け、まちは大きな一歩を踏み出そうとしています。ふるさと再生へ向け、今一度私たちのふるさとを見つめなおしましょう。そして、ふるさとの未来を語らしましょう。そこにはきつと明るい未来が見えるはずだから・・・。

特集「分岐点」 完

最終章

ふるさと再生へ、始動の時

住民一人ひとりの意思が、未来を創造する

大切なのは、
ふるさとを知り、
ふるさとに誇りを持って、
愛すること。

【参考文献】

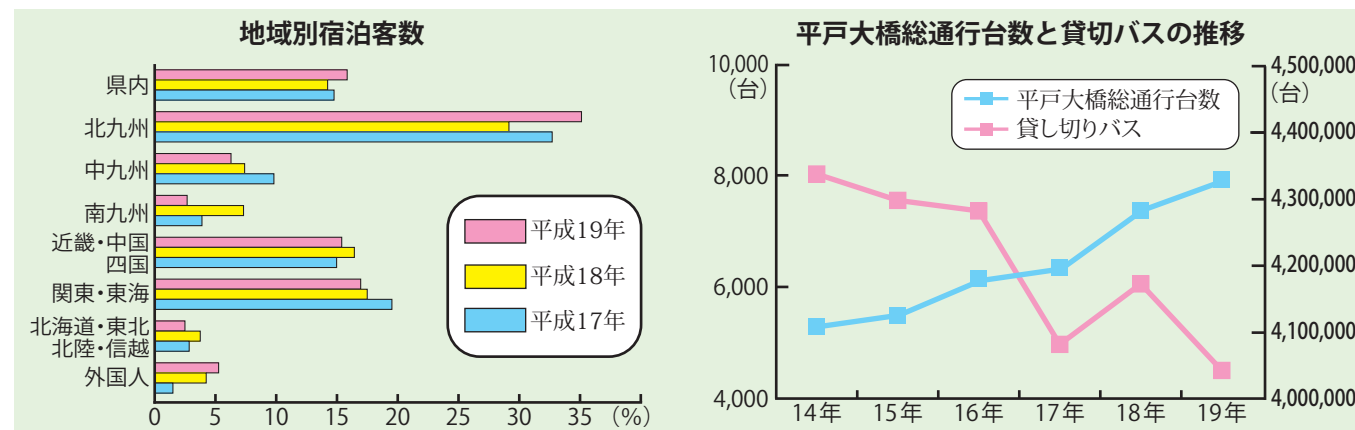
大島村神浦伝統的建造物群保存対策調査報告／井元家略歴（井元家系図より）／松浦党研究第6号抜刷「西海捕鯨と井元弥七左衛門について」／西海鯨鯢記

【資料提供】

金剛院住職 中倉光慶さん／北原 守さん

撮影地：大根坂天の原の打出の岩と棚田

Turning Point



直面する課題

平戸大橋の貸切バス通行台数を見てもわかるように、平成14年には8千23台だった通行台数が、平成19年には4千504台と半減しています。これは、旅行者の旅行スタイルが、団体旅行から個人・グループ旅行へと変化してきていることを物語っています。旅行会社の統計データによると、現在、団体旅行と個人・グループ旅行の割合は、3対7といわれています。

日本人の旅行スタイルが変化したことにより、従来の「団体型」で観光地を巡りホテルや旅館で宴会を楽しむ旅行から、「体験型」「交流型」で訪れた地域の自然・生活文化に触れ、その地域の人とのふれあいを求める旅行へと転換しています。

しかし、個人・グループ旅行者のニーズは、多様化・高度化しており、それぞれの旅行に適応した宿泊先や食事などの多彩な旅行プランを求めています。

平戸は、歴史・自然・食など魅力を感じる素材が数多くあり、ほかの地域との差別化を図るため、その地域資源を活用したさまざまな取り組みを行っています。平戸の観光イメージおよびブランド化が十分に図られていません。交通アクセスが悪い平戸に集客を図るためには、平戸ならではの旅行プランづくりへの対応が求められています。

Interview

再び訪れたい観光地づくりを目指して 観光客の誘致および平戸全体の魅力アップを図ります

私たち平戸観光協会は、昨年8月に第3種旅行業を取得しました。旅行者の旅行スタイルが、団体旅行から個人・グループ旅行へと変化している中で、平戸での旅行情報の一本化と地域独自の魅力を活かした地域密着型の旅行プランの開発・販売に取り組むためです。このことにより、旅行者のニーズにあったプランをより簡単に、かつ素早く提供できるようになりました。

これからの観光地づくりは、人口減少社会の到来により旅行者が減少していく中で、いかにリピーターを増やし、連泊滞在型の観光メニューを創出できるかが課題と考えています。単なる自然の雄大さや美しい風景だけでは、人は来ません。「もう一度来たい」「長く居たい」と思わせるためには、「滞在させる地域の魅力」と「飽きさせない地域メニュー」が必要であり、総合的な満足度を高めることが重要と考えます。

平戸には、自然景観、地元の豊富な食材など多彩な魅力がありますが、それをまだ活かしきれていません。訪れた観光客に平戸の魅力を伝える人が不足していると感じています。その地域を訪れたとき、そこに、地

域のことを熱く語る人がいて、その地域の楽しい人たちとの交流が観光客の満足度を高めます。

今年の1月から3月にかけて、エコウォークプランを実施しました。このプランは、平戸の美しい自然景観・歴史文化を地元のガイドの案内で説明を聞きながら歩く、「歴史散策」「山歩き(志々伎山、安満岳)」を盛り込んだ3泊4日のプランです。このほかにも地元に来てから選べるプランを楽しんでいただき、参加者の約9割の人から満足していただきました。

今後も行政や関係団体との連携を図りながら、地域のみなさんが平戸の魅力を積極的に語り、平戸を訪れた観光客を飽きさせないプランを作り、再び訪れたい観光地づくりを目指して事業に取り組み、観光客の誘致および平戸全体の魅力アップを図っていきます。



(社)平戸観光協会事務局長 赤木 望さん

※第3種旅行業とは、営業所がある市町村とこれに隣接する区域に限定した募集型企画旅行を実施できる旅行業のことです。

HIRADO CITY TOURISM STATISTICS

平成19年 平戸市観光統計

観光統計の 概要をお知らせします

■観光統計の概要

観光客数	160万2千人(対前年比 99.2%)
宿泊客数	27万人(対前年比 101.1%)
日帰り客数	119万8千人(対前年比 98.6%)
外国人宿泊客数	1万2千人(対前年比 200.0%)
修学旅行宿泊客数	6千人(対前年比 89.4%)
観光消費額	105億4300万円(対前年比 100.0%)

■観光客数内訳

平戸地区	120万4千人(対前年比 99.3%)
生月地区	24万9千人(対前年比 99.6%)
田平地区	13万5千人(対前年比 98.8%)
大島地区	1万4千人(対前年比 91.3%)

主要要因

- 観光客数**
- 平成19年の観光客数は、平戸市全体で160万2千人、平成18年より約1万2千人(対前年比△0.8%)の減少となっています。内訳として、宿泊客数は、3千人(対前年比1.1%)増加し、日帰り観光客は、1万7千人(対前年比△1.4%)の減少となっています。
- また、海外からの観光客は、増加傾向にあり、外国人宿泊客数は、平成18年の6千人を大きく上回る1万2千人と2倍以上増加しています。
- ① **宿泊客**
- 宿泊客数の増加の要因は、外国人宿泊客数の増加と平戸観光協会、宿泊施設、県、市との連携によるセールス効果の表れで、「食」を通じた各種プロモーション事業や連泊型商品の造成によるものと思われます。
- ② **日帰り観光客**
- 日帰り観光客が減少した要因は、日帰りバスツアーの減少(平戸大橋の貸切バス入り込み台数が1千550台減)や各種イベントの集客人数の減少が主な要因と考えられます。
- ③ **外国人観光客**
- 外国人観光客は、平成18年より6千人増加しています。アジアからの観光客、特に韓国からの観光客の伸びは大きく、巡礼ツアーや韓国の高

- 校の修学旅行が要因です。
- 昨年の6月12日から7月13日の間には、米国から国際親善団体「ピープルトゥピープル学生大使」368人が来平するなど、修学旅行も体験型観光への移行が進んでいます。
- また、現地旅行代理店への訪問活動や、モニターツアーの実施などでPRができたことが増加の要因と考えられます。
- ④ **観光施設**
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産の暫定リスト入りしたことや、「平戸キリシタン紀行」の定着により教会や切支丹資料館、生月町博物館・島の館などカトリック関連の展示をしている施設に注目が集まりはじめています。
- しかし、その一方で、平戸城、松浦史料博物館、平戸観光資料館などは、1.4%、25%の減少となっています。近年、観光施設の入館料が旅行商品に組み込まれなくなったことや、旅行形態が「観る観光」から「町並み散策型観光」に変化していることがうかがえます。
- ⑤ **体験型観光・修学旅行**
- 体験型観光客は、マスメディアで紹介されたPR効果によって、本市でしか味わえない漁師体験、いかに年々増加しています。
- また、修学旅行生は年々減少していますが、体験型修学旅行(民泊)の受入人数は、増加傾向にあります。



▲平戸を訪れた米国のピープルトゥピープル学生大使



煉瓦造教会堂の傑作「田平天主堂」

Vol.02

世界遺産早期登録に向けて

昨年、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産暫定リストに登録されました。これらの文化遺産を次の世代に引き継ぎ、また、魅力ある地域づくりを行うために、県や関係市町で「景観条例」の制定や「教会堂の保存管理計画」の策定、「重要な文化的景観」選定に向けて、現在調査などを行っています。

市では、信者のみなさんの生活の一部であり祈りの場である教会を大切に守りながら、地域のみなさんや関係団体が一体となって、世界遺産への早期登録に向けた取り組みを行っています。

田平天主堂

田平天主堂は、平戸瀬戸を見下ろす丘の上に建つ教会堂で、設計施工は、長崎県を中心に九州北部地方に数多くの教会堂建築を手がけた新上五島町出身の鉄川与助です。大正6年10月に竣工し、大正7年5月14日に献堂式が行われました。

田平天主堂は、鉄川与助の煉瓦造教会堂の作品の中では最後のもので、多彩な煉瓦積みの手法を用いるなど、意匠的にも優れており、外観、内部共に高い評価を得ています。

また、教会堂の周囲には、司祭館などの特徴的な景観がよく保存されている点も貴重であるといえます。

地域の「たからもの」から、世界の「たからもの」へ

田平教会の信徒であり、田平教会報「瀬戸山の風」の編集に携わる今村慶子さんは、かつてド・ロ神父が田平への移住を勧めた最初の世帯のひとつに嫁いで以来、信仰を続けています。

「長崎の教会群を世界遺産へ」という取り組みに関しては、地域の方々が教会堂を大切にするといい気持ちになってきたことを嬉しく思う反面、祈りの場である教会堂が観光地化されるのではないかとという不安もあると言います。

『教会は、祈りの場であることを踏まえた上で見学してもらいたい。信者の手によって苦勞して造られ、

「建物だけではなく、その中で守られてきた信仰も大事にして欲しい」



今村 慶子さん
©田平町萩田免
田平教会信徒
会報「瀬戸山の風」編集委員

守り続けられてきた教会を、これからも大事にしていきたいし、見学に来られる方にも、教会堂の建物だけではなく、その中で守られてきた信仰も大切にして欲しい」と話してくれました。

世界遺産の構成資産になるためには、その価値の証明に加え、それぞれの資産をどのように保存し活用していくのかを定めなければなりません。今後、市では所有者や地域のみなさんの協力を得ながら、保存計画や活用策などを検討していきます。

お問い合わせ

文化遺産課文化遺産班
☎内線2635

ロマネスク様式の荘厳な赤煉瓦づくり
鉄川与助氏煉瓦造教会最後の傑作

国指定重要文化財

田平天主堂

指定日：平成15年12月25日

種別：国指定重要文化財（建造物）

名称：田平天主堂

所在地：平戸市田平町小手田免19番地19

建築年代：大正6年（1917）10月

構造形式：煉瓦造および木造



「平戸とオランダ?」

暑い夏が再び始まりました。私は去年の暑い8月初旬に初めて平戸に来ました。実は平戸に来る前には、平戸のことをあまり知らなかったです。英語の情報を探しましたが、なかなか見つけれなくて「本当に田舎なんだろう」と思っていました。着いてからいろいろな人に平戸の話を聴きましたが、よく「平戸は田舎ですよ」とか「何もないですよ」とか「平戸はつまらないでしょう?」と言われました。合併前の大島の村勢要覧を見ると、表紙に大きく「なにもないけど。。。と書いてありました。しかし、私は外国人として平戸の魅力をすぐに感じました。いろいろな歴史の話を聴いたり、豊かな自然を見たり、祭りを経験したりして、とてもいい所だと思ってきました。

平戸の歴史をあまり知らなかったの、歴史をちょっと調べていたら、面白い話がたくさん見つかりました。私はオランダ人として何よりも大切だと思うのは、日本とオランダの通商関係が平戸で始まったということです。当時のオランダは、平戸だけで自由に貿易できて、平戸だけにオランダ風の商館を建築しました。どう考えても平戸市は日蘭関係にとって、すごく重要な役割を果たしています。

来年2009年は、日蘭通商関係が400年たつのを記念して、オランダや日本全国で、とてもたくさんのイベントが行われます。オランダの総理大臣をはじめ、政治家や芸術家などが日本を訪問します。日蘭関係においてとても重要な年になります。そして、その重要な年の中心は、平戸になっています。平戸がですよ。

日本オランダ年
2008-2009
www.nihonoranda.jp



これは「日本オランダ年2008-2009」を記念して描かれたオランダの絵本作家ディック・ブルーナによるオリジナルイラストです。
Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv, 1953-2008

平戸市は、2009年にオランダ人とオランダの政府に注目されますので、この歴史を活かして、今後のオランダと日本の関係においてさらに重要なまちとなるチャンスがあると思います。この機会に平戸でもいろいろなイベントを行いたいと思っています。来年の「日本オランダ年」にみなさんのご協力をご支援をお願いします。平戸のみなさんは、日蘭関係における平戸の役割をまだそんなに意識していないかもしれませんが、これは平戸が自慢できるところの一つだと思います。平戸の魅力に自信を持って、来年の日本オランダ年を通じて、過去の歴史だけでなく将来に向けてもいろいろな国にもっと注目されるまちを作りましょう。

P.S. 興味のある人は、日本オランダ年のホームページもぜひご覧ください。

URL : <http://www.nihonoranda.jp>

HIRADO X-CHANGE



Interview

鳥山 泰隆
やすたか

交通指導ボランティア

清々しい気持ちで1日が始まる
これが私の生きがい



小鳥がさえずる校門を元気に登校する子どもたち一人ひとりに「おはよう」と声を掛けながら、生月小学校の校門前の交差点で交通指導をしている人がいます。平戸地区交通安全協会副会長を務める鳥山泰隆さんです。鳥山さんは、これまで25年間、毎朝、児童のみなさんが安全に登校できるよう、どんなに雨風が強い日でも、どんなに寒い雪の日であっても、一日も欠かすことなく横断歩道で子どもたちの誘導を行っています。この交差点は、急な坂の途中にあり、しかも四叉路で、登校時は交通量も多く、子どもたちにとっては、



生涯学習実践人
鳥山 泰隆さん
◎生月町里免 (69)

永年の交通安全防止活動により、平戸警察署長、県知事、交通安全協会より数々の表彰状を受賞。昨年、市生涯学習まちづくり表彰受賞。現在、平戸地区交通安全協会副会長や生月地区民生委員児童委員協議会会長を務める。

とても危険な交差点ですが、鳥山さんのボランティアのおかげで、これまで一度も事故は発生していません。始めたきっかけは、昭和58年当時、小学校のPTA役員をしていた時、朝のあいさつ運動で、校門に立ち始めた際に「この交差点は危ないな」と実感したのがきっかけだそうです。鳥山さんの宝物は、生月小の全校児童のみなさんからもらった感謝の手紙。鳥山さんは、「これからも元気で動ける限り、子どもたちの安全を願って続けて行きたいですね」と、早朝の眩いほどの日差しの中で笑顔で話していました。

子どもたちの交通安全を願って
毎日元気な子どもたちの顔を見るのが、何よりも嬉しく、これからも続けていきたいですね。



ちば ひろき
千葉 洋樹さん (23歳・古江町)
「これからどんどん顔を覚えてもらって、
今後の仕事につなげていきたいです」

- 勤務先
平戸商工会議所
- ニックネーム
ひろき
- 性格は？
のんびりマイペース
- 趣味・特技
スポーツ観戦

「地元で就職したい」と平戸商工会議所に今年4月から就職した千葉さん。現在は、職場の先輩たちの指導のもと業務係として毎日充実した日々を過ごしているそうです。同所では、事務のほか、イベント業務などもあるため、「運営する立場になって初めてお客さんと呼ぶ難しさなどを実感しました」と千葉さん。「これから顔を覚えてもらって、今後の仕事につなげていきたいです」と笑顔で抱負を語ってくれました。



☆☆☆ Happy Birthday ☆☆☆ ★お誕生日おめでとう！★ 7月生まれ



強くて元気いっぱいの
男の子に育ってネ！

なかむら たいき
中村 太紀くん
(H19.7.2生)
～孝治さん・さやかさんの長男～
＜明の川内町＞



我が家の癒やし系、
これからも皆を癒やしてネ！

おぐす まき
小楠 茉季ちゃん
(H18.7.4生)
～正治さん・直子さんの次女～
＜野子町＞



モリモリ食べて、
大きく育って！

ふくだ かずまさ
福田 一将くん
(H19.7.12生)
～竜也さん・渚さんの長男～
＜志々伎町＞

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「平戸のわっかもん」

平戸のまちで働く「わっかもん」を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」

発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。

○応募方法 写真にお子さんの名前（ふりがな）・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町 1508 番地 3 総務課秘書広報班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's People CLOSE UP!

まちのひとびと

Club Introduction

クラブ紹介

「芳舞会」 「見る人に感動と元気を与えられる踊りを目指しています。」



活動DATA

活動日／週1回(不定期)
活動会場／市ふれあいセンター児童室
対象者／踊りが好きな人
連絡先／代表宅 ☎28-1503
部員数／14人
代表／松山ノブ子さん(紐差町)

私たち芳舞会は、3年半前に2人からスタートしました。現在は14人の会員で、週1回の練習ですが、みんなで楽しく日本舞踊を踊っています。現在、11月に市ふれあいセンターで開催される「越南まつり」での演舞予定の「恋瀬川」などを稽古中です。日本舞踊は、お腹を引いて背筋をピンと伸ばして姿勢を良くすることが基本の一つで姿勢が良くなるなどのメリットがあります。また、日本舞踊は、日本の伝統文化なので、絶やさずに次の世代に継承していくことが大事だと考えています。「今後は稽古を積んで、老人ホームなどで演舞を行うなど、見ている人に元気を与えるような踊りをするのができたら嬉しい」と話しています。ぜひ、「越南まつり」で私たちの日本舞踊を見に来てください。



「田平町体育振興会剣道部」 「心と体を鍛えながら、剣道を楽しんでいます」



活動DATA

活動日／毎週月・水・金曜日 午後6時～午後8時
活動会場／田平町体育館
対象者／どなたでもOK！
連絡先／代表宅 ☎57-1933
部員数／31人
参加費／月額1,000円
(兄弟など2人目からは500円)
代表／小田 勇さん(田平町山内免)

田平町体育振興会剣道部は、30年以上活動が続けている部で、小学生・中学生を中心として週3回の練習に励んでいます。市民体育祭などの大会前には、高校生や大人の参加もあるとか。市内や北松浦郡の大会など年14回ほど出場しており、先日の市中学校総合体育大会では、田平中学校女子が準優勝しました。

また、部では試合の勝利だけでなく、剣道を通して仲間を作り、先輩は後輩の指導を、後輩は先輩に迷惑をかけないように精神力や集中力を鍛えることも目標として活動しています。社会人になった人も後輩が気になって、練習を見に来ています。同部では、現在部員を募集中で、特に中学生男子を募集しています。ぜひ一度気軽に練習を見に来てください。



市民の声

Citizen's Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、たくさんの声をお寄せください。

今回の応募総数は、**10**通でした。



ビーブルトゥビーブル学生大使学校訪問の様子（猶興館高校）

平戸に住んで35年を越えました。住めば住むほど平戸がとても好きになった自分に気付かされる毎日です。仕事で遠方へ出かけた際も、話題は平戸の自慢をしてるし、宣伝呼び込みに楽しんでます。地産地消が必ずでやっと思ひ直していただける今こそ、平戸特産から建物、伝わっているお話・など。今からやろうとしていることがとても良いことだと一筆しました。

（M・M 56歳女性）

父が平戸に単身赴任中なので、平戸の観光情報がわかりやすくてとても参考になります。今度出掛けてみたいですね。

（H・K 女性）

青い色の帯びや文字が効果的に入っていて読みやすいです。たとえば、中津良のホタル祭りのように、5月〜6月までの情報は、6月号にも掲載するといいですね。

（バスケマン・TK 男性）

平戸にある道の駅のことや、地産地消の店などをいろいろ取り上げてください。行ったことのない店やいろんなくだもの、野菜などがあるとおもしろいと思います。

（楓のベイベー 22歳女性）

表紙がとても素晴らしく市民の明るい表情が毎号撮られており、気持ち

ちよく感じられます。合併当時は、支所管轄のニュースが少なく、堅苦しい記事ばかりのようで慣れないせいかあまり関心が持てませんでした。最近では、「まちのできごと」をはじめ、「まちのひとびと」など市内で活動している人たちが取り上げられ興味が出てきました。希望としては、人口の動きが、市全体でしかわからず、よその人から生月の人口はと尋ねられても返答がでずに恥ずかしう思っています。せめて年1度でも地区別の人口を掲載していただけたらと思います。

（E・T 67歳女性）

平戸は、海が美しい、山が美しい、肉が魚がおいしい。そして日本の中でも誇れる歴史の街、そして欠けていた温泉も今は湧き出しています。本当に素晴らしい観光地です。私も日本全国旅して、海外もあちこち巡りましたが、平戸のように素晴らしい観光地は少ないと思います。あとは、観光客向けの食事の場所と土産品店の利便性などを充実すれば、もっと観光客が増えるのではないのでしょうか。

（M・Y 男性）

毎月、生き生きした写真の表紙に引き込まれ、広報ひらどを手に取りページをめくり始めます。いつも内容が盛りだくさんで、また大切なお知らせが掲載されており、広報が行

政と私たち市民とのつながりを持つ最も身近な一つだと感じています。これからもドラえもんのかぐやまのような広報ひらどを楽しみにしています。

（ドラえもんのかぐやま 49歳女性）

「広報ひらど」の発行ご苦労さまです。毎月楽しみに読んでいます。今月は、春まつりなど催し物があっているのがよく分かりました。特に興味深かったのが、平戸夏香の記事です。私は、水田とみかん（温州みかん）、はっさく、甘夏など10種類余り）を栽培しています。6月に食べる平戸夏香、どんな果実なのだろう。糖度は？酸度は？一玉何グラムなのだろうか。見てみたいと思います。これからも、みかんに限らず、めずらしい作物がありましたら紹介してください。楽しみにしています。

（H・K 58歳女性）

平戸市全体のことを良く分かり、毎月必ず目を通しています。これからも楽しい記事を期待しています。

（のぶちゃん 47歳女性）

うちでは、広報ひらどが届くと広報ひらどファンのばあちゃんの部屋に届くようになっています。娘や息子が、ばあちゃんの部屋で何かに読んで、行政的な内容を説明したり、知人が載っているといつては家族で

PRESENTS

読者プレゼントコーナー

長田食品

「平戸魚醤油の詰め合わせ」を4名様にプレゼント！

無添加の煮干使用の『いりこだしパック』と風味豊かな『鯉昆布入りだしパック』、長田謹製『魚醤油』・『あご醤油』の詰合せです。だしパックは、長崎県産の片口いわし、鯉節や昆布などを使用し、添加物を一切使っていない、深みのある本格だしが手軽に味わえることで、県内外で多くの方に好評を得ています。また、平戸魚醤油は、この天然のだしに麴を加え、毎日かき混ぜ自然発酵を繰り返し、5年間熟成させることで、臭みやかどがなく香り高くまろやかな味が特徴で、贈答用やお土産としても最適の逸品です。

◎商品についてのお問い合わせ

「長田食品」 <http://nagata-shokuhin.com/>

〒859-5102 平戸市大久保町326-105

TEL 0950-22-5544/FAX 0950-23-8114

※プレゼントは、事業所から提供をいただいています。

◎あて先

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3

総務課秘書広報班

「市民の声&読者プレゼントコーナー」係

▼F A X 22-2419

▼E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供しますのであらかじめご了承ください。



平戸の豊かな自然が育んだ完全無添加の自慢の逸品です。

市民のみなさんからの おたよりお待ちしております

郵便、FAX、E-Mailで、氏名（ふりがな）、年齢、性別、住所、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や今後取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。お便りをくださった人の中から抽選で4名様に上記商品をプレゼント。応募締切は7月20日（日）当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

～事業所のみなさんへ～

読者プレゼントコーナーで 特産品などをPRしてみませんか？

○広告内容

提供商品の写真1点、提供商品名、提供商品紹介文、提供事業所名、連絡先など

○その他

商品と発送代金については、提供事業所負担とさせていただきます。

※商品のPRを希望する事業所は、総務課秘書広報班までお問い合わせください。



盛り上がったりと家族のコミュニケーションにも役立っています。6月号からプレゼントコーナーも始まって、また家族の会話も増えそうです。役に立つ広報、楽しめる広報、平戸が好きになる広報をこれからも期待しています。

（かずちゃん 64歳女性）

国際ソロプチミスト平戸 認証 20周年

5月26日、市内のホテルで、国際ソロプチミスト平戸(白濱京子会長)が20周年を迎えるにあたり、「認証20周年記念式典」が開催されました。同団体は、実業界で活躍する女性、専門職についている女性で構成する国際的なボランティア組織で、地域奉仕活動、ユニセフ募金協力、各種団体への寄贈などの活動を実施。今回も平戸安全パトロール隊ほか5団体に安全パトロール用ベストなどを寄贈しました。白濱会長は、「みなさんに名前を知ってもらえるよう、今後も活動を続けたい」と話していました。



平戸旬素材を福岡市でアピール！

6月5日、福岡市内のホテルで、「ハッピーアペリティフ」(フランス農水省など主催)が開催され、提供された料理の食材に、平戸産のバレイショ、平戸牛、イカ、イサキなどが使われ、500人を超える来場者のみなさんに振る舞われました。市内からは食材を提供した生産者など約40人が参加し、食材などのアピールを行いました。今回のメニューを企画した笹田勇治郎洋食調理総括料理長は、「平戸の食材は全国的にも通用する食材。今後も継続して平戸の食材を使っていきたい」と話していました。



職場仲間とバレーで親睦深める

6月12日、13日の両日、大島中学校体育館で、「職場職域対抗ふれあいバレーボール大会」が行われ、島内外から11チーム、123人が参加しました。大会初日は、3パートに分かれ予選リーグが行われ、2日目は、リーグを勝ち抜いた6チームによるトーナメントが行われました。選手のみなさんは、日ごろから親しんだ職場の仲間と和気あいあいとした雰囲気の中で、バレーボールを通じて親睦を深めました。

【優勝】平戸市役所

【準優勝】はな金バレーボールクラブ



平戸焼の教会オブジェでPR

6月13日、平戸茂右エ門窯で、平戸焼の教会オブジェがお披露目されました。これは、社団法人平戸観光協会が、世界遺産登録へ向けた取り組みの一つとして、また同会が企画している旅行商品「平戸キリシタン紀行」の全国展開を図るため、同窯の三代目辻田正美さん(鏡川町)に依頼し製作したものです。今回製作されたオブジェは、田平天主堂、宝亀教会、聖フランシスコ・ザビエル記念教会の3種。籠手田恵夫会長は、「このオブジェを活用して、平戸の魅力をPRしていきたい」と話していました。



まちな できごと NEWS

22mの長巻寿司に挑戦！

6月8日、大島小学校グラウンドと大島高齢者生活福祉センターで、「大島村ふれあい健康ふくしまつり」が開かれました。まつりでは、午前中に老人クラブと母子寡婦福祉会によるハンガー・クレーン、子どもたちによるパン食い競争などのふれあいレクリエーションが行われました。午後からは、開催回数×1mの長さの長巻寿司に挑戦。今年は、大島村の時から通算して22回目で、22mになった長巻寿司を約30人が一列になり、力を合わせて巻き、一発で大成功。みなさんおいしそうに巻寿司をほお張っていました。



市内唯一の茶市 今年もにぎやかに

5月23日から25日までの3日間、津吉町旧商店街で、南部地区の初夏の風物詩となっている「第54回津吉茶市」(津吉青年商工会主催・岡田俊一会長)が開かれました。通り沿いには、新茶や工芸品、おもちゃなどを売る約70の露店が軒を連ね、会場一帯は夜遅くまで多くの買い物客や家族連れなどでにぎわいました。会場では、津吉小学校の児童による「あいあいショップ」のほか、職場対抗カラオケ大会やお楽しみ抽選会、ミュージックフェスタなどさまざまなイベントも開かれました。



まちづくりの仕掛け人になりたい！

5月25日、平戸文化センターで、「生涯学習地域アニメーター養成講座」が開催され、まちづくりの仕掛け人である地域アニメーターを目指す46人のみなさんが受講しました。受講者のみなさんは、全国生涯まちづくり協会理事長の福留強さんから「生涯学習は儲かることだ」、「市民一人ひとりが自己を高め、地域に能力を活かそう」と講義を受けた後、7つのグループに分かれ、「地域での子育て支援をしたい」、「観光ガイドを増やしたい」など平戸のまちづくりについて活発な議論を交わしていました。



■平戸市保健センター(サン・ケア平戸) ■生月支所市民協働課福祉保健班 ■田平町福祉保健センター ■大島支所市民協働課福祉保健班
☎28-1000 ☎53-2111 ☎57-0977 ☎55-2511

特定健診を受診しましょう！

平戸市国民健康保険では特定健診を実施しています。対象となる人は、ぜひ受診してください。なお、特定健診を受診の際は、必ず受診券と保険証を持参してください。

○**特定健診(平戸市国民健康保険)**
▼**対象者** 40歳～74歳の国民健康保険加入者
※国民健康保険以外の人は、各医療保険者へお尋ねください。
※75歳以上の後期高齢者医療加入者および30歳代の国民健康保険加入者には、健康診査を同時に実施しています。

▼**日程** 4月に配布した健(検)診日程表および毎月の健康カレンダーでご確認ください。

○**健康教室・結果説明会**
特定健診(集団健診)実施後に、市内各地で健康教室と併せて健診結果説明会を開催します。健診を受診された人はもちろんですが、健診を受診されていない人の参加もお待ちしています。日程については、後日、班回覧などでお知らせします。

○**がん検診**
がん検診については、国民健康保険以外の人でも、各がん検診の対象年齢を満たす人であれば受診できます。

新生児聴覚検査の費用の一部を助成します！

生まれつき聞こえにくい障害を持つ赤ちゃんは、約5百人から千人に一人と言われています。早期に発見し適切な支援を行えば障害が最小限に抑えられ、コミュニケーションや言語の発達が促されます。

○**検査対象者**
市内に住所を有する新生児で、保護者がこの検査を希望した人
※出生病院で、出生後退院までに検査を行います。

○**検査機関**
県内の指定産婦人科

○**検査方法**
耳音響放射線検査(OAE)または自動聴性脳幹反応検査(AABR)を実施します。

○**助成額**
検査費用のうち1千5百円を市が助成します。



吉永 トキ子さん(89)
(下中津良町在住)

一昨年にお孫さんから勧められた塗り絵や朝の散歩(毎日1,500歩)を欠かさず行っています。中津良地区のお楽しみ会にも参加し、運動をしたり、地区の人との交流を図ったり、生き生きと過ごしています。

●元気の秘訣●

規則正しい生活をする。食事は好き嫌がなく腹八分目。家族とのだんらんや知人との交流を楽しむ。



Secret of Lively



南 ヒサ子さん(89)
(大島村的山川内在住)

週4日のゲートボールの練習が楽しみで、島外での試合にも多数出場しています。何でも相談できる友人や周りの人々に支えられ、生け花や歌など好きなことをしながら毎日楽しく過ごしています。

●元気の秘訣●

規則正しい食事を心がけています。また、何でも前向きに考え、生きがいを持って生活しています。

新着図書紹介

みんなの図書館

このほかたくさんの新着図書があります!!

平戸図書館 ☎22-4017

[7月の休館日]
毎週月曜日(7日・14日・21日・28日)

『かわいいフェイク・スイーツの作り方』
著者名/氣仙えりか
出版社/グラフィック社

とってもおいしいそうな表紙だと思いませんか?実はそっくりなんだけど偽物の菓子。粘土やシリコンなどの身近な素材で本物そっくりなマカロン、カップケーキなど気軽に挑戦できる作り方を紹介。

今月のおすすめ本

- 茨の木/さだまさし
- 恋人たち/野中 梧
- カウントダウンノベルズ/豊島 ミホ
- 謎の転倒犬 石狩くんと(樹)魔泉洞/柴田よしき
- 東京島/桐野 夏生
- その時までサヨナラ/山田 悠介
- 山魔の如き喰うもの/三津田信三
- あちん/雀野日名子
- 遊女のあと/諸田 玲子
- 古文書はじめての歩/油井 宏子
- きものサロン '08夏号/世界文化社
- 胃・腸を切った人のおいしい特効メニュー/吉田 美香
- 米粉のスイーツ/のむらゆかり
- 直売所だより/山下 忍一
- もっとうまくなる!バレーボール/木村 正憲

『にいさん』
著者名/いせひでこ
出版社/偕成社

兄である画家ゴッホと強いきずなで結ばれ、彼の生涯を支え続けた画商のテオ。ゴッホの生い立ちから、その最期までを、テオの視点から描いていた渾身の一作。

今月のおすすめ本

- なつのおとずれ/かがくいひろし
- ふねくんのたび/いしかわこうじ
- かわのじぞうさん/たかべせいいち
- しちどぎつね/たじまゆきこ
- ゆーりりももんちゃん/とよたかずひこ
- ほく、およげないの/レイン/マローウ
- ちびくろ・さんば3/ヘレン・バンナーマン
- しろくまのアンヨくん/角野 栄子
- おばけのおはるさん/末吉 暁子
- 菜の子先生はどこへ行く?/富安 陽子
- 花天新選組 君よいつの日か会おう/越水利江子
- アンネ・フランク/アン・クレイマー
- ヤンバルクイナ・アガチャーの唄/戸塚 学
- ヤドカリ/草野慎二、栗林 慧
- 点字えほん ソウさんのハナのおはなし/小林 映子

●7月の主なもよおし●

- おはなし会 毎週土曜日 午後2時～
- 赤ちゃんおはなし会 8日(火) 午前10時30分～(北部公民館2階和室小)
- しかけ絵本教室 26日(土) 午後1時30分～(北部公民館2階会議室)
- 実験教室 30日(水) 午後1時～(北部公民館2階会議室)

永田記念図書館 ☎28-0128

[7月の休館日]
毎週月曜日(7日・14日・21日・28日)

『もう一回蹴りたかった』
著者名/望月 重良
出版社/ぴあ

シゲ、俺より先にサッカーやめるのか?・・・治療方法のない不治の難病に襲われた元日本代表選手が、病と闘った2年間の経験をつづっています。

今月のおすすめ本

- 相棒-劇場版-/司城 志朗
- 千里眼 シンガポール・フライヤー上・下巻/松岡 圭祐
- ミカさんの長崎弁スケッチ/片山 廣子
- 棟居刑事の使命の条件/森村 誠一
- 黒龍江省から来た女/永瀬 隼介
- タッチアップ/田澤 拓也
- 恋人/佐藤洋二郎
- 黄色い目の魚/佐藤多佳子
- 亜矢子先生の骨盤ダイエット/納富亜矢子
- こうすれば地域再生できる/菊森 淳文
- この「オッズ表」で買えば馬券は当たる/D.I.オッズ解析班
- ニッポンの検定100選/「みんなの検定」委員会
- 口の体操「あいうべ」/今井 一彰
- 1分スピーチ・あいさつ事例集/生島ヒロシ
- さらば財務省!/高橋 洋一

『どんなにきみがすきだかあててごらん なつのおはなし』
絵/アニタ・ジェラーム
出版社/評論社

小さな茶色いノウサギと大きな茶色いノウサギは、夏の日、川辺まで下りていきました。青、赤、黄色・・・夏の野原はいろいろな色でいっぱい。いちばん好きな色はどれかな? 大人気、二つのウサギシリーズ。温かくやさしい愛に満ちたお話です。

今月のおすすめ本

- おおきいかめ ちいさいかめ/山田ゆみこ
- ほたるさわ/菊池日出夫
- あいうえおみせ/安野 光雅
- まほうのこップ/川島 敏生
- 恐竜迷路なぞの恐竜ワールド大ぼうけん/千塚 鉄也
- せんねん まんねん/まど・みちお
- もりのおふろ/西村 敏雄
- ブルー・ビーとオールドツリー/テイジ
- 黒魔女さんが通る!!/石崎 洋司
- 消えた空き巣を追え!/那須 正幹
- 「カラス同盟」事件簿/アレックス・シモンズ/ビル・マッケイ
- 赤い鳥 5年生/赤い鳥の会
- 子どものための作文の本 1・2・3巻/ながたみかこ
- 日本の祭り事典/芳賀日出男
- ジュニア学研の図鑑 魚/岡 俊彦

●7月の主なもよおし●

- おはなし会(絵本・大型絵本・紙芝居など) 5日・19日・26日
- 映画会 12日(土)・むくとはじゅうの名犬物語(20分)・そんごくう(12分)

※市立図書館の本は、各公民館を通して貸出や返却ができます。詳しくは、図書館・各公民館の図書室へお尋ねください。

平戸オランダ商館風説書

～なぜオランダ商館は平戸に設置されたのか～

これまでオランダ商館が平戸に設置されたことを、なかば当然のこととして、いくつかの事例を紹介してきました。しかし、場合によっては別の場所に設置される可能性もありました。

1609年にオランダ使節に渡された徳川家康の渡航許可証には「日本のどこの港へも自由に来航して良い」という内容が盛り込まれています。また、オランダより4年遅れて日本に来たイギリス船も、当初は江戸に近い場所に商館を設置できないか検討しています。この点についてはオランダ商館も同じような考えを持っていたようです。確かに、大都市の近くに商館を設置したほうが何かと便利のような気がします。

しかし、結局は平戸に商館を設置し日本貿易の拠点とします。その理由については、例えば長崎・平戸に外国の商品の販路が出来上がっていた、あるいは外国人好みの食料が入手しやすかった、日本近海の安全な航路のデータを持っていなかったなど、さまざまな可能性が推測されており、それなりに納得できますが、決定的な理由ではありません。今のところは「当時の様々なことが重なった結果、平戸に設置された」としか言えないかも知れません。なぜ、平戸に商館が設置されていたのか、みなさんも一緒に考えてみませんか？



▲徳川家康朱印状 (渡航許可)

■お問い合わせ 文化遺産課と蘭商館復元推進室 (☎内線2635)

「国民年金保険料 免除申請のお知らせ」

■保険福祉課国保年金班 (☎内線2590) ■佐世保社会保険事務所 (☎0956-34-1141)



国民年金には、経済的な理由などで保険料を納めることが困難な場合、申請により保険料の納付が免除される制度があります。免除の種類は所得により、全額免除、4分の3免除、半額免除、4分の1免除があります。平成19年度分(平成19年7月分～平成20年6月分)の免除申請は、7月31日(木)までの受け付けとなりますので、保険料の納付が困難な人で、まだ申請が済んでいない人は至急申請手続きをしてください。

また、平成20年度分(平成20年7月分～平成21年6月分)の免除申請は、7月1日(火)から受付を開始しますので、保険料の納付が困難な人で、平成19年度に継続申請をしていない人は、申請手続きをしてください。

○申請方法

保険福祉課国保年金班、または、各支所市民協働課市民班に備え付けの申請書に記入の上、関係書類を添えて申請してください。

※関係書類

▶退職(失業)した人が申請を行う場合は、退職(失業)したことを確認できる書類(雇用保険受給者証、雇用保険被保険者離職票などの写し)を添付してください。

▶学生免除の場合は、在学証明書(申請年の4月以降発行分)、または学生証の写しを添付してください。



市指定文化財

鯨組の軌跡

Vol.33

おしまうらはざしもんじょ
大嶋浦羽指文書

寛政12年(1800)、幕府の要請で益富組から北海道の捕鯨漁場調査のため派遣された山浦の羽指(捕獲した鯨にとどめを刺す専門職)に関する文書です。安永7年(1778)、帝政ロシアの一隊が北海道に來航して通商を要求、幕府は防衛と開発に迫られ、捕鯨漁場としての調査を平戸藩に依頼しています。益富組から派遣された寅太夫(58歳)と安兵衛(38歳)の両名は、下関から高田屋嘉兵衛の辰悦丸船団で北海道に渡り調査の結果、採算の取れる漁場はない旨報告しています。幕末に至っても、大島に捕鯨の専門家が存在していたことを示す貴重な資料です。

文化財DATA

- 名称 篠崎組の奉納絵馬
- 種別 市指定文化財
- 指定年月日 昭和61年1月17日
- 所有者 本山神社
- 所在地 大島村の山戸田1658

しのみぐみ ほうのうえま
篠崎組の奉納絵馬
吉岐の鯨組・篠崎組が大島近海で捕鯨を行う際の安全を願い、的山の本山神社に奉納した絵馬。縦73cm、横58cmで、銅版の御幣2本を張り付け、「明和二年(1765)奉 篠崎組 西十一月吉日」の墨書があります。大島近海は鯨が通る勇魚道であり、捕鯨が盛んに行われていたころの資料です。



▲益富組の奉納絵馬

文化財DATA

- 名称 益富組の奉納絵馬
- 種別 市指定文化財
- 指定年月日 昭和61年1月17日
- 所有者 天降神社
- 所在地 大島村前平1351

文化財DATA

- 名称 大嶋浦羽指文書
- 種別 市指定文化財
- 指定年月日 昭和61年1月17日
- 所有者 坂元ユズコ
- 所在地 大島村の山川内331



▶大嶋浦羽指文書

や ら ん ば ! 平 戸

元気にするまちづくり

協 働

SERIES 4



「やらんば会議」

今回は、市民活動支援制度の採択団体や第1回やらんば会議の様子を報告します。

市内13か所でやらんば会議を開催しました

やらんば会議では、市民のみなさんが日ごろから考えているまちづくりや身近な課題について、真剣に議論していただきました。

今後は、会議で出された意見をもとに、テーマを決めてそれぞれの地区で開催していきます。市民のみなさんの参加をお願いします。

なお、開催日程は、広報ひらどや区長回覧などで周知します。

▼会議での主な意見

- 平戸小学校区
 - ①少子高齢化
 - ②職員のボランティア活動
- 度島小中学校区
 - ①後継者対策（結婚対策）
 - ②環境美化
- 田助小学校区
 - ①伝統芸能の継承
 - ②少子高齢化
- 田平南小学校区
 - ①少子高齢化
- 田平東小学校区
 - ①産業振興
 - ②後継者対策（結婚対策）
- 田平北小学校区
 - ①支所庁舎の活用

- 中野中学校区
 - ①特産品の販売促進
 - ②観光振興（鄭成功関係）
- 中部中学校区
 - ①産業の活性化
 - ②やらんば会議の方法

- 南部中学校区
 - ①伝統芸能の継承
 - ②人材育成
- 野子小中学校区
 - ①道路整備
 - ②後継者対策（結婚対策）

- 大島中学校区
 - ①環境美化
 - ②後継者対策（結婚対策）

- 生月小学校区
 - ①環境美化
 - ②少子高齢化
- 山田小学校区
 - ①環境美化
 - ②少子高齢化

やらんば市民活動モデル事業を2次募集します

- 予算額 予算の範囲内
- 支援額 1団体あたり100万円を限度
- 事業内容 市から提示されたテーマと仕様書などを基に、市民団体が自ら企画の立案や運営を実践いただく提案公募型の事業です。
- ▼テーマ名
 - ①自主防災組織の育成および活動支援
 - ②魚食普及（水産物の消費拡大推進）

- ③遊休農地を活用したまちづくり
- ④市民とつくる「故郷の森林」
- ⑤家庭と学校と地域がつながる「まち家族化計画」
- ⑥市民参加型のまちなか活性化対策
- ⑦高齢者・障害者世帯の生活支援
- ⑧子育て支援団体のネットワーク構築
- ⑨健康づくりのための生活習慣の改善
- ⑩歴史的建造物・町並み・史跡等を活かした地域づくり
- ⑪伝統芸能・祭・行事を活かした地域の推進
- ⑫ゴミ減量化による地球温暖化対策の推進
- ⑬結婚対策
- 応募要件
 - ①市内で実施する公益性の高い事業であること。
 - ※市外の場合は、事業効果によって判断します。
 - ②市や他の機関などへの要望とならないこと。
 - ③既存の事業でないこと。
 - ④申請団体の運営助成や財産などの取得を目的としないこと。
 - ⑤1団体1件を限度とする。
- 応募資格 公益活動を行う団体や自治会、ボランティアグループ、NPO法人など。または、地域産業組織や企業で、次の要件に該当するもの
 - ①公益活動を行う事業であること。
 - ②市内に活動拠点があること。
 - ③事業の企画から実施、運営、完了までができること。

- ④政治、宗教、公益を害する活動を目的としないこと。
- 対象経費 事業実施に必要な経費
- 募集締切日 8月29日（金）必着

地域コミュニティ活動推進事業補助金を2次募集します

- 対象事業 特産品の開発や地域文化を活かしたイベントの開催など
- 対象経費 事業の実施に必要な経費。ただし、実施団体の備品など財産の取得は対象外
- 応募資格

- ①市内に住所を有する5人以上で組織された非営利団体で、年間の活動計画が明確であるもの。ただし、営利団体であっても事業内容が公益的な場合は対象となります。
- 募集締切日（必着）
 - ①平戸・生月地区 7月31日（木）
 - ②田平・大島地区 8月15日（金）
- 申込方法 企画課地域協働推進室・各支所市民協働課・各出張連絡所に備え付けの申請書に記入の上、提出してください。

お問い合わせ

- 企画課地域協働推進室
 - ☎内線2333
- 生月支所市民協働課
 - ☎内線4112
- 田平支所市民協働課
 - ☎内線5111
- 大島支所市民協働課
 - ☎内線6112

◎市民活動支援制度 採択団体一覧

平戸市生き活きまちづくり事業採択一覧			
補助金名	採択団体名	事業名	交付額
花とみどりのふるさとづくり事業補助金	紐差第4区自治会	花いっぱい運動	100,000 円
ひらど豊かな人づくり推進事業補助金	こもれびの会	韓国文化を活用した地域おこし事業	133,000 円
ひらど豊かな人づくり推進事業補助金	NPO法人ひらど遊学ねっと	2008年社交ダンススポーツパーティー大会 in HIRADO	500,000 円
市民力アップ支援事業補助金	ヒラド・ビッグフューチャーズ	ねしこ賑わい交流拠点づくり事業	3,000,000 円

平戸市地域コミュニティ活動推進事業補助金採択一覧		
採択団体名	事業名	交付額
平戸地区		
中部地区観光活性化研究会	中部地区観光活性化推進事業	928,000 円
志々伎体験型振興会	志々伎自然体験交流事業	370,000 円
NPO法人ひらど遊学ねっと	「平戸ざぼん園」の復元整備事業	905,000 円
パッポン会	ディスカバリーKOTA	600,000 円
南部暮らしの応援隊	住まいと暮らしのフェア	800,000 円
CRASH CREW	若者による地域コミュニティー創造事業	548,000 円
生月地区		
NPO法人いきつきドットコム	かくれキリシタンデジタルアーカイブ事業	180,000 円
生月ボランティアガイド協会	元関脇 隆乃若との交流事業	339,000 円
生月自然の会	生の舞台の感動を子どもらに	216,000 円
生月勇魚倶楽部	鯨文化交流事業	804,000 円
花と緑を育てよ会	花と緑で環境美化事業	540,000 円
館浦青壮年会	磯洗い隊藻場回復事業	145,000 円
館浦青壮年会	伝統芸能継承事業	330,000 円
アイルオブ生月実行委員会	VII Isle of 生月2008	418,000 円
紙風船	「絵本でつなぐ親子のきずな」子育て支援事業	420,000 円
西部青年会	お年寄りの豊かな生活向上事業	324,000 円
田平地区		
田平町生活学校	田平町生活学校研修事業	51,000 円
世界の昆虫展実行委員会	日本一の昆虫展 in たびら	1,000,000 円
地産地消を進める会	地産地消の大壁画作成事業	322,000 円
たびら子ども劇場実行委員会	ちょっとみていかんね	246,000 円
和牛女性クラブ	和牛女性クラブ会員研修事業	149,000 円
田平町和牛研究会	田平町和牛研究会会員研修事業	154,000 円
大島地区		
大島和牛研究会	大島村畜産活性化事業	231,000 円





2. 国民健康保険税の軽減制度について

(1) 低所得世帯の軽減制度

国民健康保険税を決定する際に世帯主(擬制世帯主を含む。)、国保加入者全員および後期高齢者医療制度に移行した人(国保加入者がそのまま後期高齢者制度に移行し、移行日の世帯に継続して属する人に限る。)の前年中の総所得金額が次の表にあてはまる世帯は、均等割額および平等割額が軽減されます。

7割軽減	所得の合計が33万円以下の場合
5割軽減	所得の合計が33万円+(24万5千円×世帯主を除く国保加入者および後期高齢者の人数)以下の場合
2割軽減	国保加入者全員(擬制世帯主を含む。)の所得の合計が33万円+(35万円×擬制世帯主を除く国保加入者および後期高齢者の人数)以下の場合

(2) 後期高齢者医療制度の創設に伴う国保税の新たな軽減措置

平成20年4月以降、75歳以上の人は、後期高齢者医療制度に移行し、新制度の保険料を納めることになります。それに伴って、国民健康保険に引き続き加入する人の保険税負担が急に増えることがないよう、国保加入者の保険税について、次のような軽減制度が新たに設けられました。

(例1) 75歳以上の人が後期高齢者医療制度、75歳未満の人が国民健康保険に引き続き加入する場合

国民健康保険被保険者
夫(76歳)妻(72歳)

→

後期高齢者医療制度被保険者
夫(76歳)

+

国民健康保険被保険者
妻(72歳)

①所得の低い人の国民健康保険税の軽減について
保険税の軽減を受けている世帯は、世帯構成や収入が変わらなければ、5年間、今までと同じ軽減を受けることができます。

②世帯割で賦課される国民健康保険税の軽減について
国民健康保険の被保険者が1人となる場合には、5年間、医療給付費分および後期高齢者支援金分に係る世帯割で賦課される保険税(平等割分)が半額になります。

(例2) 75歳以上の人が被用者保険(会社の健康保険など)から後期高齢者医療制度に移行することにより、その被扶養者(65～74歳)が国民健康保険に加入する場合

会社の健康保険
被保険者 夫(76歳)
被扶養者 妻(72歳)

→

後期高齢者医療制度被保険者
夫(76歳)

+

国民健康保険被保険者
妻(72歳)
(新たに保険税負担)

新たに国民健康保険に加入し、保険税を納めることになった方については、2年間、次のとおり軽減されます。

①所得割および資産割は賦課されません。②被保険者1人あたりで賦課される均等割額が半額となります。

③被保険者が1人の場合には、世帯別で賦課される平等割額も半額となります。

※新たに国民健康保険に加入される被保険者(65～74歳)の人は、加入届が必要です。

Topics

障害者スポーツ大会が開催されました

5月25日、諫早市の県立陸上競技場で、「第8回長崎県障害者スポーツ大会」が開催され、県内から約1,400名、本市からも、21人の選手が100m走、ジャベリックスロー、ソフトボール投げなどの競技に参加しました。大会結果は次のとおり(敬称略)。

【1位】 貞方 省三(100m2部)、坂尾 正廣(60m松葉杖1部)、大塚 豊子(スラローム2部)、亀渕佐喜子(ジャベリックスロー1部)、大崎 洋子(ジャベリックスロー車椅子)



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

お知らせ

INFORMATION

国民健康保険税の算定方法が変わります

☎保険福祉課国保年金班 ☎内線2589
☎税務課住民税班 ☎内線2548

1. 国民健康保険税の税率について

平成20年4月から医療制度改革により75歳以上の人が加入する医療保険として、後期高齢者医療制度が創設され、この後期高齢者の医療費の40%相当を各医療保険者が負担することになりました。国民健康保険も平成20年度から新たに「後期高齢者支援金分」(後期高齢者支援金等課税額)を合算して課税することになります。

平成20年度の国民健康保険税の税率は、次のように改正されましたのでお知らせします。

区分		所得割※1		資産割※2		均等割※3		平等割※4	
		平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度
平戸地区	医療分	8.3%	11.5%	7.4%	10.0%	18,500円	24,600円	17,300円	22,900円
	支援分	2.8%	—	2.6%	—	7,100円	—	6,100円	—
	介護分※5	1.8%	1.6%	2.0%	2.0%	7,100円	6,500円	4,200円	3,700円
生月地区	医療分	7.5%	10.4%	18.4%	32.0%	18,500円	24,600円	17,300円	22,900円
	支援分	2.8%	—	2.6%	—	7,100円	—	6,100円	—
	介護分※5	1.8%	1.6%	2.0%	2.0%	7,100円	6,500円	4,200円	3,700円
田平地区	医療分	6.2%	8.4%	22.9%	31.5%	18,500円	24,600円	17,300円	22,900円
	支援分	2.8%	—	2.6%	—	7,100円	—	6,100円	—
	介護分※5	1.8%	1.6%	2.0%	2.0%	7,100円	6,500円	4,200円	3,700円
大島地区	医療分	6.2%	8.4%	22.9%	30.9%	18,500円	24,600円	17,300円	22,900円
	支援分	2.8%	—	2.6%	—	7,100円	—	6,100円	—
	介護分※5	1.8%	1.6%	2.0%	2.0%	7,100円	6,500円	4,200円	3,700円

- ※1 所得割は、昨年1年間(平成19年1月～12月)の所得に対して計算される割合です。
- ※2 資産割は、固定資産税(都市計画税は除く。)が課税されている人について計算される割合です。
- ※3 均等割額は、国民健康保険に加入している1人あたりの金額です。
- ※4 平等割額は、国民健康保険に加入している1世帯あたりの金額です。
- ※5 介護分は、40歳から64歳の介護保険第2号被保険者に該当する人のみ課税されます。

※医療給付費分の税率は、合併後急激に負担が増えないように基金を使用し、旧市町村区域ごとに税率を設定する「不均一課税」を適用しています。今後も見直しを行い、平成22年度までに「均一課税」とします。

※課税限度額は、次のとおりです。

区分	平成20年度	平成19年度
医療分	470,000円	560,000円
支援分	120,000円	—
介護分	90,000円	90,000円

Topics

全国大会へ向けて市長に表敬訪問

5月2日、諫早市の県立総合運動公園で、「第23回全国選抜ゲートボール県予選大会」が行われ、市ゲートボール協会に所属する「春秋会」(瀧野久子代表)が、シニアレディースクラスで見事優勝。5月30日、白濱市長を表敬訪問し、全国大会での健闘を誓いました。6月7日、8日の両日、北海道北見市で行われた全国大会では、東京都代表に25対6で圧勝したものの、惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんでした。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします



お知らせ

INFORMATION

75歳以上のみなさんへ 後期高齢者医療

国保 保険福祉課 国保年金班
☎内線2591

後期高齢者医療の保険料

平成20年度の保険料額は、7月に平成19年分の所得を基に年間保険料額を決定し、後期高齢者医療制度に加入しているすべての人に通知します。

○保険料の納め方

▼普通徴収

年金額が年額18万円未満の人や介護保険料と後期高齢者医療保険料の合算額が年金受給額の2分の1を超える人は、口座振替や納付書により納めます。

▼特別徴収

普通徴収以外の人は、年金からの天引きとなります。

○保険料の納付開始月

保険料の納付開始月は、3月31日時点で加入していた保険制度で次の3通りになります。(平成20年5月現在)



① 国民健康保険、国保組合(建設国保組合、医師国保組合など)に加入していた人

▼各自納めていただく人(普通徴収)

7月から納付書などで納めます。

▼年金からの徴収(特別徴収)

平成20年度の保険料額から仮徴収した保険料を差し引いた額を10月以降に支給される年金から天引きします。

② 1月下旬以降に国民健康保険に加入した75歳以上の人など、または会社の健康保険、共済組合、船員保険などに加入していた本人

▼各自納めていただく人(普通徴収)

7月から納付書などで納めます。

▼年金からの徴収(特別徴収)

10月以降に支給される年金からの天引きとなりますが、7月から9月までは、納付書などで納めます。

③ 会社の健康保険、共済組合、船員保険などに加入していた被扶養者

▼各自納めていただく人(普通徴収)

10月から納付書などで納めます。

▼年金からの徴収(特別徴収)

10月以降に支給される年金からの天引きとなります。

※ ③の該当者は、後期高齢者医療制度に加入した月から2年間、保険料は均等割額のみとなり、さらに5割減額されます。

また、平成20年度に限り、9月までは納付する必要がなく、10月から平成21年3月まで9割減額されます。

募集

INVITATION

公営住宅の入居者募集

国都市計画課総務住宅班
☎内線2285

入居を希望する人は、申込書に添付書類を添えて、都市計画課、または各支所産業建設課にお申し込みください。

○募集戸数 19戸

① 平戸地区 7戸、② 生月地区 8戸、③ 田平地区 4戸

※詳しくは、お問い合わせください。

○申込期限 7月15日(火)

※郵送でも受け付けます。(必着)

○申込資格 原則として、次のすべての要件を満たしていることが必要です。

① 収入が公営住宅法施行令に定められた基準内であること、② 住宅に困っていること、③ 地方税などの滞納がないこと

○添付書類

① 世帯全員の源泉徴収票または所得証明書、② 納税証明書、③ 住民票謄本

○選考方法 募集戸数を超えた住宅については、抽選により選考します。

なお、抽選会は、8月上旬に開催予定です。

※抽選会の開催については、該当者に後日通知します。

【注意】入居決定後に入居を辞退することがないよう、事前に十分検討したうえでお申し込みください。

「自然観光ガイド養成講座」の参加者を募集します

国生涯学習課生涯学習推進班
☎内線2625

近年、体験修学旅行や自然観光エコウォークが注目され始めています。このような中、地域の案内ができる人材を育成するため、「自然観光ガイド養成講座」を開催します。

○とき

▼南部地区コース 7月25日(金)・26日(土)、8月7日(木)、9月21日(日)、10月5日(日)の5回

▼生月地区コース 7月30日(水)、8月10日(日)、10月1日(水)、11月2日(日)、平成21年3月29日(日)の5回

○講座内容 「南部地区」と「生月地区」のコースごとに、講義と実地研修を組み合わせ、自然を体感し、地質や植物を学習しながら、エコウォークの楽しさを習得する講座です。

▼南部地区コース 講義2回、実地研修「志々伎山」「佐志岳」「上段の野」

▼生月地区コース 講義2回、実地研修「塩俵」「山頭草原」「長瀬鼻」

○対象者 18歳以上の一般市民の人で、自然観光ガイドに関心のある人

○募集人員 各コース30人

※応募者多数の場合は、抽選とします。

○受講料 各コース300円(保険料代)

○申込期限 7月22日(火)

○申込方法 ①氏名、②住所、③電話番号、④年齢を、はがき・FAX・電話

限度額適用・標準負担額減額認定申請

限度額適用・標準負担額減額制度は、入院時の支払いが限度額までとなり、食事代も減額される制度です。認定を受ける場合は、申請してください。

▼対象者

世帯全員が住民税非課税の人

▼適用方法

申請により交付された「限度額適用・標準負担額 減額認定証」を医療機関に提示してください。

※有効期限が7月31日(木)となっている認定証をお持ちの人で、引き続き認定を希望される人は、更新手続きが必要です。

自己負担割合の判定

8月1日(金)から平成19年の所得に基づき、医療機関窓口での自己負担割合の再判定を行います。自己負担割合が変更(3割から1割または1割から3割)になった人には、新しい被保険者証をお送りします。自己負担割合が3割負担の人で、収入が一定未満の世帯の人は、負担割合が変更になりますので、申請してください。

▼1割負担になる世帯

後期高齢者医療被保険者の収入合計(必要経費や控除を差し引く前の合計額)が、1人の場合「383万円」、2人以上の場合「520万円」未満の世帯

のいずれかでお申し込みください。

▼FAX 222878

平戸南風夜風人まつり「夏の陣」 平戸納涼花火大会 メモリアル花火を募集します

国観光商工課観光班
☎内線2272

『花火大会の開催について』

毎年恒例の平戸港での花火大会(平戸南風夜風人まつり「夏の陣」平戸納涼花火大会)を今夏も開催します。ライトアップされた平戸城をバックに打ちあがる花火をご覧ください。

○とき 8月9日(土)

※荒天の場合は、翌日の8月10日(日)に順延します。

○ところ 平戸港交流広場

『メモリアル花火の募集について』

メモリアル花火を募集します。感謝の気持ち、応援メッセージ、お祝いのメッセージなど、大切な気持ちを花火に託して伝えてみませんか。ご応募お待ちしております。

※メッセージを読んで花火を打ち上げます。

○料金 4号玉1発5千円(税込)

○募集発数 20発

○募集締切日 7月31日(木)

○応募方法 30字程度のメッセージに料金を添えて、観光商工課観光班にお申し込みください。

Topics

三浦按針の遺徳をしのんで

5月27日、崎方公園内の按針塚で、「第14回按針忌」(国際交流HIRAの会主催)が開催されました。これは、地理学、造船技術などを日本に伝え、オランダやイギリスと、日本の通商関係の発展に貢献した三浦按針(ウィリアム・アダムス)をしのんで、毎年行われているもので、会場には、白濱市長を始め、オランダ総領事ディルク・ヤン・コップ氏など約50人が出席。三浦按針をはじめとする先人たちの遺徳をしのび、献花しました。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

Topics

最新機器がズラリ！最新鋭の取締船に期待

5月27日、平戸港バスターミナル前浮き桟橋で、長崎県漁業取締船「かいおう」の船内見学会が行われ、漁業関係者など92人が最新機器が搭載された最新鋭の高速漁業取締船を見学しました。これは先代の老朽化に伴い建造された同型船で、県の取締船では初のウォータージェット推進装置を搭載。最大速力は時速46.5ノット(約86km/h)で、今後、密漁や漁業違反の抑止、撲滅に大きく能力を発揮するとして期待されています。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします



募集

INVITATION

シーライフひらどからのお知らせ

☎シーライフひらど
23・8351

『屋外プールオープン情報』

流水プールやウォータースライダーが楽しめる屋外プールをオープンします。

○開設期間 7月1日(火)～9月15日(祝・月)

※7月5日(土)・6日(日)の両日は、ウォータースライダーを無料で開放します。また、夏休み期間は、午前10時から午後6時まで無休で開園します。

『アルバイト募集』

○勤務内容 プールの監視・清掃

○勤務資格 18歳以上(高校生不可)

○勤務期間 夏休み期間中および7月の土曜と日曜

○勤務条件 1日6時間(週30時間)・週休2日・時給700円

※土・日曜、お盆に出動できる人

『スイミングスクール受講生募集』

『小学生コース』

○期間 7月～9月(第2期)

○とき

火・水・木・金曜日

①午後4時30分～午後5時30分

②午後5時45分～午後6時45分

土曜日

①午前11時～正午

②午後1時～午後2時

お知らせ

INFORMATION

館浦競漕船大会2008を開催します

☎生月支所産業建設課
☎内線4134

生月の夏の風物詩。伝統的な木造船で速さを競う「館浦競漕船大会2008」を開催します。海の恩恵に感謝するとともに水産の町の伝統と触れ合う大会です。

○とき 7月21日(祝)午前9時開会※小雨決行。荒天時中止。

○ところ 館浦宮ノ下広場・館浦港内一円

○内容

▼海上イベント 一般・中学生・女性・地区対抗のクラスごとに行う競り舟競技があります。

▼陸上イベント 午前と午後の2回、魚のつかみ獲りがあります。対象者は、園児から中学生までです。

ミニミニ昆虫移動展を開催します

☎教育委員会田平分室
☎内線5013

世界最大のカブトムシや珍しいチョウなどの昆虫標本を見ることが出来る昆虫展を、今年は移動展として開催します。また、栗林慧氏(生物生態写真家)や浜崎さわこ氏(写真家)の写真も展示します。

③午後2時15分～午後3時15分
④午後3時30分～午後4時30分
○料金(第2期分) 週1回7千円・週2回9千円・週3回1万1千円
※第3子以降は半額です。

『マスターズコース』(大人の水泳教室)

○対象者 18歳以上の泳げない人

○期間 7月～9月(第2期)

○とき 毎週金曜日午後7時30分～午後8時30分

○料金 5千円

『アクアビックコース』(水中運動)

▼夜の部

○とき 毎週火・水・木曜日

①午前11時～正午

②午後2時～午後3時

○料金 5千円(1か月)

○夜の部

○とき 毎週火・水・木曜日

午後7時10分～午後8時10分

○料金 1万3千円(3か月)

○講師 種ヶ嶋篤志氏

平戸市美術展覧会の作品を募集します

☎文化遺産課文化遺産班
☎内線2633

市美術展覧会の作品を次のとおり募集します。

○出品資格 小学生以上で、市内在住者または、市内の職場や学校に在籍する人は、どなたでも出品できます。

○出品部門 日本画、洋画、デザイン、

▼第1回
○とき 7月3日(木)～5日(土)午前9時～午後5時

○ところ 市多目的研修センター

▼第2回

○とき 7月10日(木)～13日(日)午前9時～午後5時

○ところ 市ふれあいセンター

▼第3回

○とき 7月19日(土)～21日(祝・月)午前9時～午後5時

○ところ 市離島開発総合センター(北部公民館)

▼第4回
○とき 7月24日(木)～29日(火)午前9時～午後5時

○ところ 生月町博物館 島の館

平戸市の景観に関するアンケートを実施します

☎都市計画課まちづくり班
☎内線2292

市民のみなさんの景観に関するご意見を反映させた景観計画を策定するため、7月にアンケートを実施します。

景観計画とは、今後目指すべき平戸市らしい良好な景観を、守り、育て、創りだすための目標や方針、また、その実現に向けた取り組みの方法を定めたものです。市では、今年度に景観計画および景観条例の制定を目指し取り組んでいます。

○対象者 市内在住者から抽出した5千人

○回答期限 7月31日(木)

工芸、写真、書、彫刻
○出品申込・搬入日 10月1日(水)～3日(金)

○搬入場所

▼平戸地区 北部公民館・中部公民館・南部公民館

▼生月地区 生月町博物館 島の館

▼田平地区 田平町民センター

▼大島地区 大島村離島開発総合センター

○審査発表 10月17日(金)

※出品者本人または団体(学校)あてに連絡します。電話などによるお問い合わせは受け付けません。

○表彰式 11月3日(祝・月)

平戸文化センター

志々伎自然体験交流事業の参加者を募集します

☎南部公民館
☎内線3913

○とき 1回目 8月2日(土)
2回目 8月8日(金)

各回とも午前9時～

○ところ 志々伎湾および志々伎山周辺

○内容 漁業体験およびトレッキング

○対象者 市内の小中学生およびその保護者など(各回40人以内)

○参加費 小・中学生 1千5百円
大人 2千円

○募集期限 7月11日(金)

○申込方法 各公民館および生涯学習課

社会教育班に備え付けの申請書に必要な事項を記入の上、提出してください。

第22回昔話を楽しむ九州沖縄交流会長崎大会を開催します

☎生涯学習課生涯学習推進班
☎内線2625

※同封の返信用封筒で返送してください。
※アンケート用紙が送付されなかった人もアンケートに参加することが出来ますので、希望される人は、都市計画課までお問い合わせください。

『おはなしを楽しむ』

○とき 8月23日(土)

午後1時15分～午後3時30分

○ところ 平戸文化センター

○講演 「今、何を伝えるか」

○講師 松谷みよ子先生(作家)

▼交流会

○とき 午後5時～

○ところ ホテル旗松亭

▼夜のおはなし会

○とき 午後7時30分～

○ところ ホテル旗松亭

・参加費 有料(金額については、お問い合わせください。)

『子どもたちのためのおはなし会』

○とき 8月24日(日)

午前10時～午前11時45分

○ところ 平戸文化センター

○内容 地元の語り手によるお話し会

○参加費 無料

※申込期限 7月25日(金)

※申込先 昔話を楽しむ九州沖縄交流会
世話人会事務局(森) ☎23・3131

Topics

日ごろの思いを堂々と

6月21日、北部公民館で、「第3回少年の主張大会」が行われ、小・中学生29人が、日ごろ感じている家族や社会などのテーマについて意見発表しました。小学生の部最優秀賞を今井チヨさん(根獅子小6年)が受賞。中学生の部最優秀賞を種岡美里さん(中部中3年)、特別賞を白石純平さん(大島中3年)が受賞し、種岡さんは「少年の主張県大会」に、白石さんは「社会を明るくする運動」の弁論大会にそれぞれ市代表として出場します。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

Topics

自転車で日本一周に挑戦中!

6月3日、日本一周に挑戦している中村道雄さんが市役所を訪れました。還暦記念と昨年亡くなった母の追悼のために、今回で5回目の挑戦中。平戸に立ち寄ったのは、2回目に徒歩で挑戦したとき、鹿児島県の佐多岬で足をケガし動けなくなった中村さんを助けてくれた大坪幸人さん(新町)に会うためとか。中村さんは、「今後、四国の88か所めぐりをし、8月の青森ねぶた祭りまでに青森に着きたい」と話していました。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします



お知らせ

INFORMATION

あなどるな「熱中症」

▽消防本部予防課
☎内線2134

日差しが強くなるこの時期、30度を超える真夏日が多くなります。暑さや日差しに体が慣れていないことにより、熱射病や日射病いわゆる熱中症になり救急車で病院に搬送される人が多くなります。

○予防対策として

▼日中、長時間の作業などを行う場合は、途中で休憩をとりましょう。
▼日中の外出はなるべく避け、もし、外出をする時は、帽子や日傘を使用するなど直射日光に当たらないようにしましょう。

▼炎天下での作業やクラブ活動中は、こまめに水分を補給し、体調が悪い時には休憩をとりましょう。

○熱中症にかかった人には

▼風通しの良い日陰や、冷房の効いたところに移しましょう。
▼衣服をゆるめ、体を楽にしてあげましょう。

▼冷たい水に濡らしたタオルや氷などで手足・脇の下などを冷やしましょう。

○症状の度合い

▼重症度1 熱けいれん(立ちくらみや、ふくらはぎなどの筋肉がけいれんを起したりします)。

▼重症度2 熱疲労(頭痛や吐き気、目

が回ったりして気を失ったりすることがあります)。

▼重症度3 熱射病(呼びかけに応じなくなったり、手足が動かなくなったりします)。

生涯学習課からのお知らせ

▽生涯学習課生涯学習推進班
☎内線2625

『第2回図書読み聞かせ養成講座』

読書活動にかかわる人材育成のため、子ども支援読み聞かせ養成講座を開催します。

○とき 7月28日(月)午後1時30分～午後3時30分

○ところ 北部公民館

○講座名 「読み聞かせの基本」

○講師 富原美智子先生

○参加費 無料

『第4回平戸市民生涯学習講演会』

市では、現在、世界遺産登録に向けた取り組みを行っています。市民自らも国際人としての世界観と真の心をもてなしの心を学ぶため、講演会を開催します。

○とき 8月1日(金)午後7時～午後8時30分

○ところ 市ふれあいセンター

○講座名 「地球からのぞいた平戸」子どもの未来に、大人ができること

○講師 ホン・ソクファ先生(韓国)

○参加費 無料

農業危害防止運動月間です

▽農林課農務班
☎内線2259

6月15日(日)から8月14日(木)までの2か月間は、「農業危害防止運動月間」です。農業を使用する際は、もう一度次のことに注意して、適正な使用を心がけましょう。

①使用前に、もう一度ラベルを読んで、使用上の注意事項を守りましょう。
②散布の際には、防除衣、メガネ、マスクなどをきちんと着けましょう。
③散布にあたっては、農薬の飛散を最小限に抑え、近接圃場の作物、周辺の人家、家畜、河川などへの影響に十分注意しましょう。

④農薬散布器具は、使用後の洗浄を徹底し、タンク、ホースの洗い忘れに注意しましょう。

⑤農薬は、鍵のかかる場所に保管するなど、盗難防止に努めましょう。

農業関係災害の発生時には 早めのご連絡を

▽農林課耕地班
☎内線2262

梅雨期・台風シーズンを迎え、集中豪雨などにより田畑といった農地や水路・農道などの農業用施設が被災することが考えられます。災害発生の際には早急に農林課耕地班または各支所産業建設課までご連絡ください。

農業委員会からのお知らせ

▽農業委員会総務班
☎内線2653

『国が支える大きな安心』

「農業者年金」で豊かな老後を！

農業者のみなさん、老後を安心して過ごすために、農業者年金に加入しませんか。

農業者年金は、国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の人なら、どなたでも加入できます。将来受け取る年金を、自分で積み立てる方式で、80歳までの保障が付いた終身年金です。保険料は、月額2万円～6万7千円の間で自由に決められ、全額社会保険料控除の対象となるなど、税制面でのメリットもあります。

また、認定農業者など意欲ある担い手には保険料の国庫補助もあります。

農業委員会では、農業者年金相談コーナーを設け、パンフレット配布や説明を随時行っています。

『旬の情報で農業経営を支援する』

「全国農業新聞」を読みましょう。全国農業新聞は、全国農業会議所が発行する週刊の農業総合専門紙です。農政・時事・経営問題に鋭く切り込み、先進的な農業経営者の取り組み事例や営農技術・流通などの旬の情報を掲載しています。また、食と農、健康や生活に役立つ話題も満載で、地方発の身近な話題も充実しています。農業経営の参考に読んでみ

ませんか。

○申込先 農業委員会事務局

○購読料(月額) 600円(月4回発行)

岩手・宮城内陸地震の 義援金を受け付けます

▽福祉事務所総務班
☎内線2563

市では、福祉事務所総務班、各支所市民協働課、各出張所に義援金の受付箱を設置しています。

また、団体からの義援金も、受け付けています。市民の善意により集められた義援金は、日本赤十字社を通じ被災地域へ送られます。

○受付締切日 7月31日(木)

投票日は7月31日

「北部海区漁業調整委員一般選挙」

▽選挙管理委員会事務局
☎内線2365

任期満了に伴う北部海区漁業調整委員会委員一般選挙が次のとおり行われます。

投票時間と場所が通常の選挙とは異なりますのでご注意ください。ただし、7月22日(火)の告示日に立候補が定数以内の場合は、無投票となります。

○投票日 7月31日(木)

○告示日 7月22日(火)

○投票時間 午前9時～午後5時(一部午後4時)

○投票場所 投票所入場券に記載しています。

▼投票できる人 平成19年度北部海区漁業調整委員会委員選挙人名簿に記載されている人

▼期日前投票

○投票期間 7月23日(水)～30日(水) 午前8時30分～午後8時

※投票所により投票日、投票時間が異なります。

○投票場所 平戸文化センター・市ふれあいセンター・市多目的研修センター・生月支所・田平支所・大島支所

介護保険のお知らせ

「高額介護サービス費の支給」

▽保険福祉課介護保険班
☎内線2585

同じ月に介護保険で利用したサービスの1割の利用者負担合計額(同じ世帯に複数の利用者がいる場合には、世帯合計額)が高額になり、一定額を超えたときは、申請により「高額介護サービス費」が支給されます。詳しくは、お問い合わせください。

※施設でサービスを受けたときの食費・居住費や日常生活費、福祉用具購入費、住宅改修費の利用者負担額、支給限度額を超えた分の利用者負担額などは、対象になりません。

※領収日から2年を経過している場合は、支給できないことがあります。

○申請に必要な書類 領収書・印かん・本人名義の振込先口座が分かるもの(郵便局を除く)。

バンケットホール・アゼリア 1周年記念
ウィディングキャンペーン
2008年9月～12月にご成約の方に
○商品券や旅行券、電化製品などの商品の中から1点をプレゼントします。
○さらに、1周年の結婚記念日にお二人を一泊ご招待など7つの特典。
※但し、ご成約総額100万円以上の方に限ります。詳しくはホテルまでお問合せ下さい。

平戸海上ホテル ご予約・お問合せ TEL/0950-22-3800
http://hiradokaijyohotel.co.jp

SoftBank

ソフトバンク佐々
(マックスバリュ佐々店前)
北松浦郡佐々町本田原免107-1
TEL 0120-41-1597
営業時間:AM10:00～PM7:00(年中無休)

平戸・千里ヶ浜温泉
ホテル
蘭
〒859-5132 長崎県平戸市川内町55千里ヶ浜
総合予約・お問合せ TEL/0950-23-2111

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

【平戸地区】	
中瀬 徠杏	英敏
作江 悠莉愛	善隆
鴨川 晴太	敬見
鳥山 恭輔	啓輔
吉村 悠生	秀喜
村田 ゆり	友和
保護者	
度島中部	
下中津良	
高越	
西の久保	
中の原	
高麗町	

元気な誕生 よい子に

赤いもみ 保護者 行政区
参加費 1千円 (印画紙代などを含む。)

生物生態写真家の栗林慧氏、写真家の浜崎さわこ氏を講師に招き、デジタルカメラを中心とした写真講習会を開催します。カメラ、弁当をご持参ください。

○とき 7月20日(日)午前9時～
○ところ (午前)白岳公園センター (午後)江迎町中央公民館

江迎写真愛好会(柴山)
090・2397・5061

カメラ講習会を開催します

アジアの英雄「鄭成功」をたたえて、「鄭成功生誕祭」を開催します。市民のみなさんの参加をお待ちしています。

○とき 7月14日(月)午前10時～
○ところ 鄭成功廟(川内町丸山公園内)

鄭成功まつりを開催します

平戸観光協会
23・8600

『巡視艇体験航海(平戸瀬戸)』
巡視艇による平戸瀬戸の体験航海の参加者を募集します。

○とき 7月27日(日)
午前10時～、午前11時～、午後1時～、午後2時～(各30分)の4回

○集合場所 平戸海上保安署

○対象 高校生以下(小学生以下は保護者同伴)

○募集人数 100人(保護者を含む。)

○申込方法 往信はがきに乗船希望時間、住所、乗船希望者全員の名前、年齢をお知らせください。

平戸海上保安署からのお知らせ

平戸海上保安署
22・3997

幅広い職業の知識や技術を習得できる高等技術専門校に体験入学してみませんか。

○とき 【長崎校】7月9日(水)
【佐世保校】7月23日(水)

○内容 体験実習や施設の見学など

○対象 高校生など

○申込方法 高校生は進路指導の先生を通じて、そのほかの人は直接各校へお申し込みください。

県立高等技術専門校「二日体験入学」の参加者募集

県立長崎高等技術専門校
095・887・5671
佐世保高等技術専門校
0956・62・4151

よび電話番号、返信はがきの表に代表者の住所、名前を記入の上、平戸海上保安署(平戸市岩の上町1529・2)へお申し込みください。

※応募多数の場合は、抽選の上決定する場合があります。

○申込締切日 7月10日(木)必着

『1日海上保安署長』

巡視艇体験航海(1回目)に合わせ、1日海上保安署長として、行事に参加していただく、小学生(高学年)を募集します。

○募集人員 1人

○申込方法 巡視艇体験航海と同様(1日署長希望と記入してください。)

気軽に楽しく♪体力づくり シニア体力アップステーション

平戸総合スポーツクラブ
ビクトリー(松本)
22・4186

健康や肥満が気になるみなさん。気になったその時から健康づくりを始めませんか。当クラブでは、中高年を対象に、どなたでも気軽に参加できる体力づくりプログラムを実施します。家族でも参加できますので、ぜひご連絡ください。

○とき 7月13日(日)午前9時～正午(平成21年1月まで定期的に実施)

○ところ 平戸文化センター(大ホール)

※シニア体力アップステーションは、文部科学省補助事業です。

【平戸地区】	
田中 長寿	船越
作元 トメ	水垂
國松 八千代	薄香浦
山田 マキオ	根獅子第2
田口 実	潮の浦
針尾 直義	敷佐
森本 春夫	下中野
加島 ハマ	志々伎浦
福海 雅治	川内浦
米倉 和子	崎方町
福田 イチ子	山中
塩屋 美代子	上大垣
橋元 ハナ	神上
山村 理枝	中の原
米倉 ヒロノ	上大垣
田淵 義雄	元触

ご冥福を お祈りします

【田平地区】	
宮本 さくら	西の久保
小野 柚希	中の原
肥後 心春	田原崎
松山 凛香	石原田
山下 陸登	富茂
木下 結幸	誠二
谷沢 結幸	義幸
七種 琴乃	慎一郎
濱崎 倫太郎	圭亮
下亀	米の内

パソコン講習の受講生募集

平戸市母子寡婦福祉会事務局
(市福祉事務所内)
内線2575

ひとり親家庭などの自立促進と就業支援を図るため、パソコン講習会の受講生を募集します。

○とき 8月5日(火)～平成21年1月30日(金)の毎週火・金曜日 午後7時～午後9時

○ところ 中部公民館

○定員 20人(先着順)

○受講料 無料

○申込締切日 7月15日(火)

NPOひらど 遊学ねっとからのお知らせ

平戸市母子寡婦福祉会事務局
22・4372

『社交ダンススポーツパーティー大会 in HIRADOの開催』
元世界チャンピオンのクリストファ・ホーキンスさんを迎えて、社交ダンススポーツパーティー大会を開催します。

○とき 7月12日(土)午後3時～午後7時30分

○ところ 平戸文化センター(大ホール)

『写真展の開催』
海から見た平戸と平戸の植物の写真展を開催します。

○とき 7月1日(火)～31日(木)午前9時～午後3時

○ところ 親和銀行平戸支店

■善意のともしび

篤志および香典返しで、次の方々からご寄付がありました(敬称略)。
ひらどふれあい福祉基金へ
○大島村前平 川久保住男
宝亀小学校へ
○宝亀町 石田 英喜(亡母 カノ)
田平町民センター図書室へ
○田平町下寺免 山崎 雄士(亡妻 登美子)

■5月の交通事故

件数 7件
死者 0名
負傷者 17名
(重傷) 1名 (軽傷) 16名

■5月末までの

火災救急件数
火災 15件(23件)
救急 579件(488件)
()内は昨年同期

【大島地区】	
佐伯 ハナ	83歳 (5/16) 5/21 西神浦 (15受付分)
稲澤 保	58歳 6/13 下里
辻村 照義	68歳 6/11 坊田
古木 榮一	69歳 6/1 下里
石田 甚太郎	73歳 5/30 釜田
末永 ナツ	94歳 5/30 上亀
鈴木 蓉子	70歳 5/29 福崎
森 敏郎	77歳 5/15 永田
前田 千一	75歳 6/7 壹部
池田 泰則	66歳 6/5 浦北
置屋 シズ	87歳 6/3 浦北
西澤 ハル	82歳 5/31 元触
井元 達男	74歳 5/25 浦南
戸田 ノブエ	96歳 5/22 元触
中野 キヤ	84歳 5/21 浦北

自宅葬もカトリック葬も安心価格！

セレモニーホール 聖宮

ご葬儀完了まで安心の料金コースを始めました。

総額30万円・50万円・75万円
100万円・150万円の各コース
がございます。

24時間受付 平戸市戸石川町978
(0950)22-5566

戒名彫刻・クリーニング
改修・移設・合祀

創業70年 お墓のことなら何でもご相談下さい

墓石 記念碑

松永石碑店

設計 製作 施工

生月町山田免2331 0950-53-2816

佐世保・県北タウン情報誌「コミコミプレス」

COMICOM PRESS

総合印刷 企画 デザイン 広告

KENHOKU PRINT

〒859-5152 長崎県平戸市鏡川町1308
TEL 0950-22-3878
FAX 0950-26-0045
kenhoku@minos.ocn.ne.jp

SUZUKI

小さな車、大きな未来。

スズキセニアカー
ET40

免許不要 カンタン操作
消費税不要 時速2～6km

株式会社スズキ自販長崎
平戸営業所 平戸市田平萩田免1439-2
0950-57-1152